

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 国立国語研究所研究活動一覧（平成17年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/0002000349">https://doi.org/10.15084/0002000349</a>

国立国語研究所  
研究活動一覽  
(平成17年度)

*Annual Report of Research Activities*  
*The National Institute for Japanese Language*  
*April 2005 - March 2006*

国立国語研究所

## 正 誤 表

『国立国語研究所研究活動一覧（平成17年度）』

75ページ 平成17年度刊行物検討委員会一覧

追加 『日本語教育の新たな文脈—学習環境，接触場面，コミュニケーションの多様性—』

○ 柳澤好昭，井上優，福永由佳，熊谷智子，池田理恵子

## 『国立国語研究所研究活動一覧（平成17年度）』について

国立国語研究所では平成7年から9年にかけて『国立国語研究所研究発表資料集』を作成しました。平成10年度からは、その機能を整理・継承する形で『国立国語研究所研究活動一覧』を作成しています。本資料は、その平成17年度版です。

本資料は、(1) 研究職員の研究活動を所内外に公表する情報公開のための資料とすること、(2) 外部評価のための資料とすることの2点を主たる目的として作成したものです。当該期間における研究職員の成果物である報告書や研究論文等の書誌情報の一覧とともに、個々の研究職員が研究所で行っている研究・事業の課題名、研究所運営にかかわる様々な業務などを示すことにより、研究職員がどのような研究活動を行っているか、その全体像を広く知っていただくことを企図したものです。なお、研究論文等の具体的内容（本文）については、掲載雑誌等を別途御参照くださるようお願いいたします。

本資料の巻末には、研究会議（研究職員による研究所内部の会議）における研究発表等、所内の各種委員会・部会並びにその委員・部会員、見学者、平成17年度研究所刊行物などについて、それぞれの一覧を掲載しています。

### 凡 例

- ・ 平成17年度の研究体制に従って、部門を単位として、常勤、及び常勤に準ずる研究職員の研究活動を示しています。
- ・ 研究活動の区分は、以下のようになっています。研究職員によっては、特定の欄が設けられていないことがあります。これは該当する情報がなかったことを示しています。

- 1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）
- 2 成果公表活動
  - A 国立国語研究所を刊行元とするもの
  - B 所員が執筆・編集した単行本
  - C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文
  - D 論文集等に掲載された論文
  - E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）
  - F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）
- 3 上記以外の所内業務
  - ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等
  - イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等
  - ウ. 各種委員会・部会、研究支援等
  - エ. 見学者への対応等
- 4 所外活動
  - ア. 所外委員会
  - イ. 学会活動
  - ウ. 教育活動
- 5 その他

※ この一覧は、『国立国語研究所研究活動一覧』作成作業班が、基本的に個々の研究職員から寄せられた情報を基に編集しています。情報はできる限り統一して提示するよう努めました。個々人の判断などによって、必ずしも網羅的でない面や不統一が残っている場合があります。利用に当たってはその点に御留意ください。

## 目次

### 『国立国語研究所研究活動一覧（平成17年度）』について

#### 凡 例

#### 研究体制

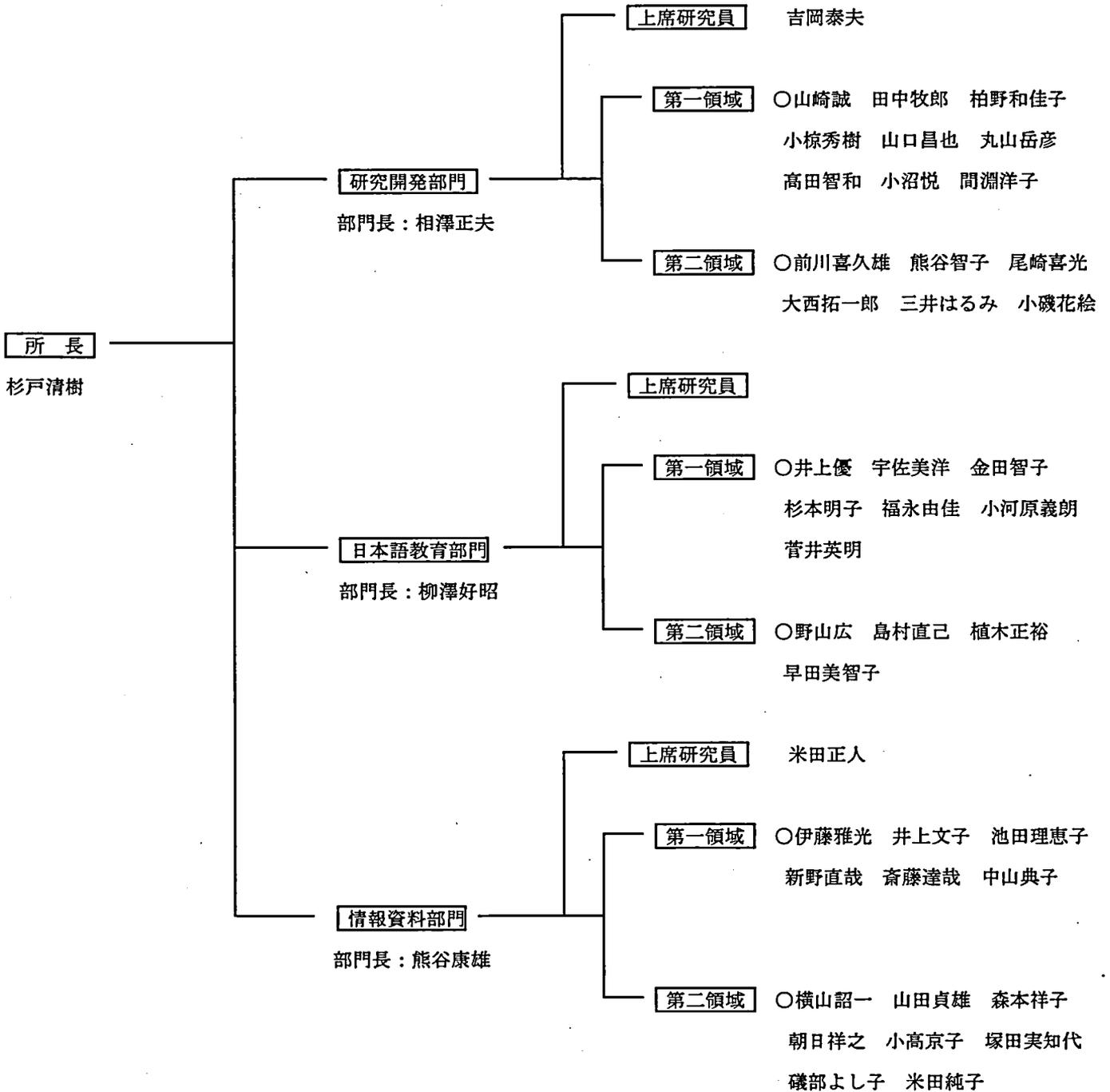
#### 平成17年度研究活動一覧

所長	3
研究開発部門	6
第一領域	11
第二領域	23
日本語教育部門	33
第一領域	35
第二領域	46
情報資料部門	51
第一領域	53
第二領域	59
平成17年度研究会議・研究発表一覧	71
平成17年度所内委員会委員・部会員一覧	72
平成17年度刊行物検討委員会一覧	75
平成17年度所内見学者一覧	76
平成17年度招へい研究員一覧	77
平成17年度非常勤研究員等一覧	78
平成17年度滞在研究員受入一覧	80
平成17年度外国出張一覧	81
平成17年度国立国語研究所刊行物一覧	87



# 研究体制 (平成18年3月31日現在)

○印は領域長





平成17年度  
研究活動一覽



# 所長

## 杉戸清樹

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 座談会 1 件, 2006 年 3 月
- 杉戸清樹, 尾崎喜光:「第 1 章 「敬語表現」から「言語行動における配慮」へ」, 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告 123)』, pp. 1-10, 2006 年 3 月
- 尾崎喜光, 杉戸清樹, 熊谷智子, 塚田実智代:「第 2 章 調査の概要」, 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告 123)』, pp. 11-18, 2006 年 3 月
- 杉戸清樹, 尾崎喜光:「第 1 章 研究目的と調査概要」, 『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, p. 13, 2006 年 3 月
- 『第 4 回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006 年 3 月
- 『「外来語」言い換え提案 第 1 回～第 4 回 総集編—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006 年 3 月
- 杉戸清樹:「序章」, 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, pp. 6-8, 2006 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「付録第 2 節 国立国語研究所の活動」, 文化庁編『国語施策百年史』, pp. 759-772, ぎょうせい, 2005 年 3 月
- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「決まり文句」「言語行動」「談話行動」「社会言語学」執筆), 大修館書店, 2005 年 10 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「言葉を見つめる 第 1 回—言葉の気配り」, 『文化庁月報』No. 439, p. 29, ぎょうせい, 2005 年 4 月
- 「最近の研究・調査から—言葉遣いの配慮をどうとらえるか」, 『時報・市町村教委』No. 196, pp. 15-17, 全国市町村教育委員会連合会, 2005 年 5 月
- 「「確かな国語力」を育成するために」, 『中等教育資料』No. 833, pp. 10-13, ぎょうせい, 2005 年 8 月
- 「巻頭論文『求められる「言語力」の吟味を』」, 『教職研修』No. 400, pp. 11-13, 教育開発研究所, 2005 年 12 月
- 「グローバル化の中での日本語の課題」, 『ACADEMIA』No. 95, pp. 6-9, 全国日本学士会, 2005 年 12 月

#### F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「国立国語研究所の使命」, 第 25 回「ことば」フォーラム 「はじめまして, 国語研究所です。—調査・研究の“今”—」, 2005 年 5 月
- 「暮らしの中の外来語—その(光)と(影)—」, 第 28 回「ことば」フォーラム 「外来語の過去・現在・未来」, 2005 年 11 月
- 「日本語教育の在り方—身に付けるものごとの中のことばの位置」, 第 1 回日本語教育機関教員と高等教育機関留学生教育担当者との研究協議会, 2005 年 11 月
- 「言語生活の中で言語行動を考える—一言語行動のあり方を考える手がかりを求めて」, 第 17 回社会言語科学会,

2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第26回「ことば」フォーラム「ことばと国際理解—国際理解につながることばの教育—」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『第12回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」』, 協力
- 『第4回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集
- 『「外来語」言い換え提案 第1回～第4回 総集編—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員長
- 国際交流委員会委員長
- 普及広報委員会委員長
- 図書館運営委員会委員長
- ネットワーク運営委員会委員長
- 大学院運営委員会委員長
- 外来語所内委員会委員長

#### エ. 見学者への対応等 7件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 中央教育審議会専門委員
- 文化審議会国語分科会臨時委員
- 大学評価・学位授与機構大学評価委員会評価委員
- 科学研究費委員会専門委員
- 日本放送協会放送文化研究所放送用語委員
- 日本弁護士連合会裁判員制度実施本部外部学識委員
- 国際交流基金日本語能力検定試験試験実施委員会委員
- 日本国際教育支援協会理事
- 日本国際教育支援協会日本語教育能力検定試験実施委員会委員
- 言語資源協会理事
- 教育研究振興会評議員
- 読売新聞活字文化推進会議推進委員
- 読売新聞社全国小・中学校作文コンクール中央審査委員
- 旺文社学芸科学コンクール第2次審査委員および最終審査委員
- 汎用電子情報交換環境整備委員会委員
- 明治書院『日本語学』編集委員

#### イ. 学会活動

- 日本語学会評議員
- 日本語学会選挙管理委員
- 日本語教育学会会長(理事)

- 日本語教育学会財政検討委員
- 日本方言研究会世話人

## 5 その他

- 取材対応, 「人」一所长就任に際して, 朝日新聞, 2005年4月
- 取材対応, 「顔」一所长就任に際して, 読売新聞, 2005年4月
- 出演, 「NHK ジャーナル 時の人」, NHK ラジオ, 2005年4月
- 出演, 「ダンランキブン」一国立国語研究所とは?, マイ・テレビ, 2005年4月
- 出演, 「The Voice」一所长就任に際して 他, 全国FMネットワークメディアサウンズ, 2005年5月
- 取材対応, 「現状追認から指針提案へ」, 読売新聞(立川支局), 2005年5月
- 出演, 「多摩めぐり」一国立国語研究所の概要 他, 多摩FM, 2005年5月
- 執筆, 「会長就任のごあいさつ」, 『日本語教育』Vol.126, p.1, 日本語教育学会, 2005年7月
- 執筆, 「『公用文言い換えハンドブック』の刊行によせて」, 『外来語・役所ことば言い換え帳』, ぎょうせい, 2005年8月
- 取材対応, 「CN かわら版」一国立国語研究所長と日本語教育学会長の兼任について 他, 『月刊日本語』Vol.213, p.56, アルク, 2005年8月
- 取材対応, 「あの人に迫る」一国語教育事情について 他, 中日新聞, 2005年8月
- 鼎談, 座談会「日本人の敬語意識」, 『文化庁月報』Vol.443, pp.12-19, ぎょうせい, 2005年8月
- 執筆, 河野由佳著『非漢字圏留学生のための日本語学校の誕生』『国際学会「日本語教科書」全7冊1940-1943』推薦文, 2005年9月
- 執筆, 『日本国語大辞典精選版』推薦文, 小学館, 2005年9月
- 執筆, 『三省堂類語新辞典』推薦文, 三省堂, 2005年9月
- 取材対応, 「何でもランキング」一気になる言葉, 日経プラスワン, 日本経済新聞, 2005年10月
- 執筆, 読売新聞全国小中学校作文コンクール講評, 読売新聞, 2005年11月
- 取材対応, 「編集委員が読む」一コンマとテン 混在に困惑, 読売新聞, 2005年12月
- 取材対応, 「敬語は平易・平明・簡素に」, 『ほうじん』Vol.643, pp.2-3, 全国法人会連合, 2005年12月
- 出演, 「ラジオ深夜便」一外来語の言い換えについて, NHK ラジオ, 2005年12月
- 執筆, 「新年挨拶」, 『日本語教育新聞』Vol.31, p.4, 日本語教育新聞社, 2006年1月
- 鼎談, 新春座談会「日本語・日本語教育のこれから一日本語ブームを振り返り, 日本語を見直す」, 『日本語教育新聞』Vol.31, pp.6-7, 日本語教育新聞社, 2006年1月
- 執筆, 「この作品を読んで感じたこと」4編, 『第55回全国小・中作文コンクール作文優秀作品集』, オーク, 2006年3月
- 取材対応, 「活字文化と教育」, 毎日新聞, 2006年3月

# 研究開発部門

## 相澤正夫 (部門長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 医療における専門家と非専門家のコミュニケーションの適切化のための社会言語学的研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(企画調査) 代表性を有する大規模な日本語書き言葉コーパスの構築と運用に関わる企画調整(分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の漢字調査(頻度表)』, 2005年10月
- 『「現代雑誌の語彙調査」に基づく漢字音訓一覧表』, 2005年11月
- 『話し言葉における敬語形式の出現実態』, 2005年11月
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 解説1件, 2006年3月
- 『第4回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006年3月
- 『「外来語」言い換え提案 第1回~第4回 総集編—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006年3月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「語種」「和語」「漢語」「外来語」「混種語」執筆), 大修館書店, 2005年10月
- 林四郎, 相澤正夫, 大島資生, 篠崎晃一編『例解新国語辞典 第七版』, 三省堂, 2006年1月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫:「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」, 『日本語科学』17, pp.105-125, 2005年4月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.4, pp.94-95, 明治書院, 2005年4月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.12, pp.98-99, 明治書院, 2005年10月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「シンポジウム「外来語問題と言語政策」発表2「国立国語研究所『外来語』言い換え提案の目的と意義」, 日本言語政策学会編『日本言語政策学会第6回大会<資料>』, pp.24-25, 日本言語政策学会, 2005年6月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫:「医師に期待する医療用語の使い方の工夫 —「外来語に関する意識調査」にみ

る国民の意識一」、『日本語学会 2005 年度秋季大会予稿集』, pp. 181-188, 日本語学会, 2005 年 11 月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 13 回国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営
- 第 28 回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 協力
- 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告 123)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『現代雑誌の表記—1994 年発行 70 誌— (国立国語研究所報告 125)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, 刊行物検討委員会委員長
- 『国立国語研究所研究活動一覧 (平成 16 年度)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会長
- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班長
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員
- 外来語所内委員会委員
- 次期中期計画小委員会委員長

#### エ. 見学者への対応等 2 件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員
- NHK放送文化研究所レビュー委員

#### イ. 学会活動

- 日本語学会評議員
- 日本言語学会委員
- 日本音声学会理事・会則検討委員会委員長・評議員
- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 6 件

## 吉岡泰夫（上席研究員）

### 1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索（学校敬語・敬意表現調査報告）
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在（意識調査）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 医療における専門家と非専門家のコミュニケーションの適切化のための社会言語学的研究（代表者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 問答 1 件, 2006 年 3 月
- 「第 7 章 敬語についての規範意識」, 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告 123)』, pp. 133-163, 2006 年 3 月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「コミュニケーション意識と敬語行動にみるポライトネスの変化」, 陣内正敬, 友定賢治編『関西方言の広がりコミュニケーションの行方』, pp. 295-319, 和泉書院, 2005 年 12 月
- 「言葉による医療コミュニケーション」, 医療ネットワーク支援センター編『医療コミュニケーションとインフォメーションマネジメント ガイドブック』, pp. 14-21, 日本看護協会出版会, 2006 年 3 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫: 「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」, 『日本語科学』 17, pp. 105-125, 2005 年 4 月
- 「漁業のことば」, 『日本語学』, Vol. 24 No. 9, pp. 6-16, 明治書院, 2005 年 8 月
- 「敬語の効果的な使い方」, 『文化庁月報』, p. 29, ぎょうせい, 2005 年 10 月
- 「自治体と住民のコミュニケーションを円滑にする言葉遣いの工夫」, 『日本語学』, Vol. 24 No. 13, pp. 20-32, 明治書院, 2005 年 11 月
- 「言葉の達人に学ぶ! 良好な関係を築く会話術」, 『高齢者ケア』, Vol. 10 No. 1, pp. 43-51, 日総研出版, 2006 年 2 月
- 「方言が若者ことばを活性化する」, 『言語』, Vol. 35 No. 3, pp. 26-33, 大修館書店, 2006 年 3 月

#### E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「シンポジウム「外来語問題と言語政策」発表 4 「行政コミュニケーションの言語問題への自治体の対応と国民の意識」」, 日本言語政策学会編『日本言語政策学会第 6 回大会<資料>』, pp. 28-29, 日本言語政策学会, 2005 年 6 月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫: 「医師に期待する医療用語の使い方の工夫—「外来語に関する意識調査」にみる国民の意識—」, 日本語学会編『日本語学会 2005 年度秋季大会予稿集』, pp. 181-188, 日本語学会, 2005 年 10 月
- “Language Problems in Loanwords and Language Policy in Japan,” The University of Utah(ed.) 2005 Rocky Mountain /Southwest Regional Japan Seminar, pp. 1-2, The University of Utah, 2005 年 10 月

#### F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「自治体と住民のコミュニケーションを円滑にする工夫」, 第 25 回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。—調査・研究の“今”—」, 2005 年 5 月

### 3 上記以外の所内業務

## ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員

## エ. 見学者への対応等 3件

## 4 所外活動

## イ. 学会活動

- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 10件

## 5 その他

- 出演, 「日曜喫茶室」, NHK-FM, 2005年4月
- 出演, 「とくダネ!」, フジテレビ, 2005年4月
- コメント掲載, 「新社会人, 敬語で冷や汗一企業・官公庁が研修中一」, 朝日新聞, 2005年4月
- コメント掲載, 「女子高生は方言好き一仲間意識強める一」, 日本経済新聞, 2005年6月
- コメント掲載, 「その言葉遣い, 待った!」, 日本経済新聞 NIKKEI プラス1, 2005年7月
- コメント掲載, 「方言がなまらはやつとるとです」, 毎日新聞, 2005年7月
- コメント掲載, 筆洗, 東京新聞, 2005年7月
- 取材対応, キャンパス・スコープ, 2005年8月
- コメント掲載, 新生面「海と魚」, 熊本日日新聞, 2005年8月
- コメント掲載, 「「医師の説明難解」36%国語研調査」, 日本経済新聞, 2005年8月
- インタビュー記事掲載, 「言葉で広がる人とのつながり一大切なのは気持ちをつたえること」, 星高新聞(星野高校新聞), 2005年9月
- コメント掲載, 「方言ブームとです」, 産経新聞, 2005年9月
- インタビュー記事掲載, 「私の意見 テーマ揺れる日本語 相手に配慮した言葉を」, 熊本日日新聞, 2005年9月
- コメント掲載, 「方言がかわいって言われてるけど…」, R25, 2005年10月
- コメント掲載, 「方言解説本が続々登場」, 時事通信社フィーチャー, 2005年10月
- コメント掲載, 「ばりかっこいいでらかわいい方言 若者大好きだべ」, 読賣新聞, 2005年10月
- コメント掲載, ことばおじさんの気になることば「遺憾で謝ってるの?」, NHK総合テレビ, 2005年10月
- 出演, 「今日はいっしょにお国ことばで語り合おう!」, NHKラジオ第一放送, 2005年11月
- 講演, 「医療における専門家と非専門家のコミュニケーションの適切化のための社会言語学的研究」, 内科専門医会熊本支部会, 水前寺共済会館, 2005年11月
- コメント掲載, 遠望細見「がばい佐賀弁」, 読賣新聞夕刊, 2005年12月
- コメント掲載, ことばおじさんの気になることば「「若者ことば」に困っています」, NHK総合テレビ, 2005年12月
- コメント掲載, ことばおじさんの気になることば「医療用語は言い換えが難しい」, NHK総合テレビ, 2006年2月
- 講演, 「豊かな方言・敬語で心温まるコミュニケーション」, 心豊かな熊本を創る運動推進県民大会, 益城文化会館, 2006年2月
- コメント掲載, 新・日本語の現場「方言の今」, 読賣新聞, 2006年2月
- コメント掲載, おじさんは怒っているぞ「頭に来る上目線」, 日本経済新聞, 2006年3月
- 出演, 「言葉による医療コミュニケーション」, メディックスTV, 2006年3月
- 講演, 「言葉による医療コミュニケーション」, 個人情報保護セミナー「医療コミュニケーションとインフォーマー

- ションマネジメント」, こまばエミナース, 2006年3月
- 講演, 「言葉による医療コミュニケーション」, 個人情報保護セミナー「医療コミュニケーションとインフォメーションマネジメント」, 埼玉県立大学, 2006年3月
  - インタビュー記事掲載, 「医学・医療用語は伝え方の工夫を」, Japan Medicine, 2006年3月

# 研究開発部門第一領域

## 山崎誠 (領域長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築
- 日本語の現在 (実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 大学院教育 (一橋大学: 日本語教育学位取得プログラム)
- 二国間交流事業 共同研究 日韓並列シソーラスの構築とその応用に関する基礎研究 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) (企画調査) 代表性を有する大規模な日本語書き言葉コーパスの構築と運用に関わる企画調整 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 2006年3月
- 『現代雑誌200万字言語調査語彙表 (CD-ROM版)』, 2006年3月公開
- 『第4回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006年3月
- 「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『第13回国立国語研究所国際シンポジウム予稿集・報告書「言語コーパスの構築と活用」』, pp.63-70, 2006年3月
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「語彙量」「日本語の語彙量」「コーパス」執筆), 大修館書店, 2005年10月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 山崎誠, 節根洙, 韓有錫編『日韓分類語彙比較表(体言類本表), 同(体言類索引)』, 韓有錫(韓国・東新大学校), 2005年5月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「現代雑誌の語彙調査—ジャンルによる語の出現分布—」, 『語彙・辞書研究会第28回研究発表会』, pp.1-8, 語彙・辞書研究会, 2005年11月
- 「シソーラスの可能性」, 『平成17年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」』, pp.2-7, 国立国語研究所, 2005年12月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間瀬洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏: 「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 吉田谷幸宏, 稲益佐知子: 「現代日本語の書き言葉に関する生産実態と流通実態—代表性を有する書き言葉コーパスのための基礎調査—」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.444-447, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 稲益佐知子, 秋元祐哉: 「代表性を有する書き言葉コーパスのサンプリング手法について」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.680-683, 言語処理学会, 2006年3月

## F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「現代雑誌の語彙調査における広告の語彙」, 語彙研究会 2005 年度大会, 2006 年 10 月
- 「語彙の時系列的分布から見た文章構造」, 北京日本学中心設立 20 周年記念シンポジウム, 2006 年 10 月

## 3 上記以外の所内業務

### A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」, 企画・運営
- 第 13 回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営

### I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の表記—1994 年発行 70 誌— (国立国語研究所報告 125)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『現代雑誌 200 万字言語調査語彙表 (CD-ROM 版)』, 企画・編集

### U. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 知的財産権部会長
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 ホームページ部会長
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 一橋大部会員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員
- 外来語所内委員会委員
- 衛生委員会委員

### E. 見学者への対応等 1 件

## 4 所外活動

### A. 所外委員会

- ISO/C37 (用語及び他の言語資源における原則と調整) SC1 委員

### I. 学会活動

- 計量国語学会理事
- 査読 国内雑誌 6 件

## 5 その他

- 執筆, 「コンピュータ&ネットの世界にみる専門用語と日常語の分水嶺」, 『情報通信ジャーナル』Vol. 23, No. 4, p. 16, 総務省情報通信政策局, 2005 年 4 月

## 田中牧郎 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在(意識調査/実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 大学院教育(一橋大学:日本語教育学位取得プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(代表者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 解説1件・問答1件, 2006年3月
- 『第4回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006年3月
- 『「外来語」言い換え提案 第1回～第4回 総集編—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件
- 『表記統合辞書(ver.1.0)』, 2005年7月公開
- 『たんぼぼ』『プリズム』, 2005年7月公開
- 田中牧郎編『「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の研究(科学研究費報告書)』, 国立国語研究所, 2006年3月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 前田富棋編『日本語源大辞典』, 小学館, 2005年4月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 山口昌也, 田中牧郎:「構造化された言語資料に対する全文検索システムの設計と実現」, 『自然言語処理』, Vol.12 No.4, pp.55-77, 言語処理学会, 2005年8月
- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎:「新聞記事データベースを利用した外来語の出現率の推移調査」, 『自然言語処理』, Vol.12 No.4, pp.117-136, 言語処理学会, 2005年8月
- 「外来語の言い換えと規範」, 『日本語学』, Vol.24 No.10, pp.6-19, 明治書院, 2005年9月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「「敏感」の誕生と定着—『太陽コーパス』を用いて—」, 『日本近代語研究』No.4, pp.31-44, ひつじ書房, 2005年6月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「シンポジウム「外来語問題と言語政策」発表3「公共的な情報媒体における外来語使用の実態」, 日本言語政策学会編『言語政策学会第6回大会<資料>』, pp.26-27, 日本言語政策学会, 2005年6月
- 「言文一致と語彙の変化—『太陽コーパス』の二字漢語サ変動詞の分析による—」, 日本語学会編『日本語学会2005年度秋季大会予稿集』, pp.197-204, 日本語学会, 2005年11月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間瀬洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏:「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 言語処理学会編『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006年3月
- 宮田公治, 田中牧郎:「外来語「リスク」とその類義語の意味比較:既存の類義語を持つ外来語の存在理由」, 言

語処理学会編『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp. 600-603, 言語処理学会, 2006年3月

- 間瀬洋子, 山口昌也, 柏野和佳子, 田中牧郎:「代表性を有する書き言葉コーパスの電子化フォーマットについて」, 言語処理学会編『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp. 684-687, 言語処理学会, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営
- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。ー調査・研究の“今”ー」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 企画・編集
- 『第4回「外来語」言い換え提案一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫ー』, 企画・編集
- 『「外来語」言い換え提案 第1回～第4回 総集編一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫ー』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会長
- 外来語所内委員会委員

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 日本弁護士連合会「法廷用語の日常語化に関するプロジェクトチーム」委員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字対応作業委員会 委員

#### ウ. 教育活動

- 聖心女子大学文学部非常勤講師

### 5 その他

- コメント, シンポジウム「技術リテラシーと市民教育」, (社)日本工学アカデミー, 2005年6月
- 出演, 「『やばい』の新しい意味」, NHK ニュース10, 2005年7月
- 執筆, 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.24 No.9, pp.98-99, 明治書院, 2005年8月
- コメント掲載, 「白書の外来語」, 朝日新聞「ことば談話室」, 2005年10月
- コメント掲載, 「易しい表現 自治体も試行錯誤」, 東京新聞, 2005年10月
- 執筆, 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.25 No.2, pp.92-93, 明治書院, 2006年2月
- 講演, 「外来語と上手につきあおう」, 立川市市民大学セミナー, 2006年2-3月

## 柏野和佳子（研究員）

### 1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の現在（実態調査）
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 大学院教育（政策研究大学院大学：日本語教育指導者養成プログラム）
- 科学研究費補助金 若手研究(B) 国語辞典における多義語の意味レベルの使用実態と意味構造の解析（代表者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 問答 2 件, 2006 年 3 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎. :「新聞記事データベースを利用した外来語の出現率の推移調査」, 『自然言語処理』, Vol.12 No.3, pp.97-116, 言語処理学会, 2005 年 8 月
- 「外来語の生命」, 『情報通信ジャーナル』, Vol.24 No.1, p.29, 財団法人 電気通信振興会, 2006 年 1 月
- 「言葉を探す, 言葉を選ぶ」, 『情報通信ジャーナル』, Vol.24 No.2, p.27, 財団法人 電気通信振興会, 2006 年 2 月

#### E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 『「分類語彙表」の特徴と位置付け』, 『平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」』, pp.8-21, 国立国語研究所, 2005 年 12 月
- 「国語辞典の釈義と用例の検討」, 『言語処理学会第 12 回年次大会発表論文集』, pp.8-11, 言語処理学会, 2006 年 3 月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間淵洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏:「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第 12 回年次大会発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006 年 3 月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 吉田谷幸宏, 稲益佐知子:「現代日本語の書き言葉に関する生産実態と流通実態 一代表性を有する書き言葉コーパスのための基礎調査一」, 『言語処理学会第 12 回年次大会発表論文集』, pp.444-447, 言語処理学会, 2006 年 3 月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 稲益佐知子, 秋元祐哉:「代表性を有する書き言葉コーパスのサンプリング手法について」, 『言語処理学会 第 12 回年次大会 発表論文集』, pp.680-683, 言語処理学会, 2006 年 3 月
- 間淵洋子, 山口昌也, 柏野和佳子, 田中牧郎:「代表性を有する書き言葉コーパスの電子化フォーマットについて」, 言語処理学会編『言語処理学会第 12 回年次大会発表論文集』, pp.684-687, 言語処理学会, 2006 年 3 月

#### F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「雑誌の言葉, 新聞の言葉」, 第 25 回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。一調査・研究の“今”一」, 2005 年 5 月

### 3 上記以外の所内業務

#### A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」, 企画・運営
- 第 13 回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 協力
- 第 25 回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。一調査・研究の“今”一」, 協力

- 第28回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』17, 企画・編集
- 『日本語科学』18, 企画・編集
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員

#### エ. 見学者への対応等 1件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 情報処理学会学会標準制度化検討委員会/WG3〔解析・生成用日本語電子化辞書形式〕
- ISO/TC37 (用語及び他の言語資源における原則と調整) 国内対策委員会

#### イ. 学会活動

- 言語処理学会自然言語処理編集委員会委員
- 言語処理学会自然言語処理特集号「コーパス言語学・言語教育と言語処理」編集委員会委員
- 言語処理学会第12回年次大会プログラム委員会委員
- 査読 国内雑誌 4件



## 小椋秀樹 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (話し言葉コーパス)
- 日本語の現在 (実態調査/国語力調査等)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の漢字調査(頻度表)』, 2005年10月
- 『「現代雑誌の語彙調査」に基づく漢字音訓一覧表』, 2005年11月
- 『話し言葉における敬語形式の出現実態』, 2005年11月
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, 2006年3月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 前田富祺監修, 安部清哉, 岡島昭浩, 小椋秀樹, 小野正弘, 木村義之, 佐藤貴裕, 田中牧郎, 矢田勉, 山本真吾, 渡部圭介

編『日本語源大辞典』, 小学館, 2005年4月

- 文化庁編『国語施策百年史』, ぎょうせい, 2006年1月

### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「ことばのデータベースからわかること」, 『NHKアナウンサーのはなすきくよむ』, pp.120-125, 日本放送出版協会, 2005年4月

### D 論文集等に掲載された論文

- 「『日本語話し言葉コーパス』の資料性—形態論情報を用いた分析から—」, 国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究』No.24, pp.259-275, 和泉書院, 2006年4月
- 「書簡文研究資料としての明治期女子用往来物」, 近代語研究会編『日本近代語研究』No.4, pp.175-188, ひつじ書房, 2005年6月

## 3 上記以外の所内業務

### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』17, 企画・編集
- 『国語研の窓』, 企画・編集

### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員

## 4 所外活動

### イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1件

## 5 その他

- 執筆, 手紙の文章, 『文化庁月報』平成17年5月号(No.440), p.29, 2005年5月
- 執筆, コーパスと言葉遣い, 『情報通信ジャーナル』23-11, p.40, 2005年11月
- 執筆, 「アリウル」?それとも「アリエル」?, 『情報通信ジャーナル』23-11, p.46, 2005年12月
- 講演, 手紙の書き方, 杉並区特別講座手紙の書き方講習会, 杉並区職員能力開発センター, 2006年1月
- 講演, 話し言葉と書き言葉, 参議院事務局記録部職員研修, 参議院第二別館, 2006年2月
- 監修, 『参議院会議録用字例』, 参議院事務局記録部, 2006年2-3月



## 山口昌也 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (話し言葉コーパス)
- 日本語の現在 (実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述 (分担者)

## 2 成果公表活動

### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, コラム 1 件, 2006 年 3 月
- 「短単位・長単位データベース」, 『日本語話し言葉コーパスの構築法 (国立国語研究所報告 124)』, pp. 187-254, 2006 年 3 月
- 『表記統合辞書 (ver. 1.0)』, 2005 年 7 月公開
- 『たんぽぽ』『プリズム』, 2005 年 7 月公開
- 語種辞書『かたりぐさ』 (ver. 1.0.1), 2005 年 9 月公開

### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 山口昌也, 田中牧郎: 「構造化された言語資料に対する全文検索システムの設計と実現」, 『自然言語処理』, Vol. 12 No. 4, pp. 55-77, 言語処理学会, 2005 年 8 月
- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎: 「新聞記事データベースを利用した外来語の出現率の推移調査」, 『自然言語処理』, Vol. 12 No. 4, pp. 97-116, 言語処理学会, 2005 年 8 月

### E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「全文検索システム『ひまわり』を用いた分類語彙表の検索と閲覧」, 『平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」』, pp. 39-40, 国立国語研究所, 2005 年 12 月
- 桐生りか, 山口昌也: 「新聞に多用される外来語の分析 一面種ごとの特化係数を用いて」, pp. 153-156, 『言語処理学会第 12 回年次大会予稿集』, 2006 年 3 月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間淵洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏: 「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第 12 回年次大会発表論文集』, pp. 440-443, 言語処理学会, 2006 年 3 月
- 間淵洋子, 山口昌也, 柏野和佳子, 田中牧郎: 「代表性を有する書き言葉コーパスの電子化フォーマットについて」, pp. 684-687, 『言語処理学会第 12 回年次大会予稿集』, 2006 年 3 月

### F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 中山恵利子, 桐生りか, 山口昌也: 「学習者が新聞を読むための基本外来語の選定」, 日本語教育短期研修第 5 回「語彙教育のためのコーパスの活用」, 2006 年 3 月
- 「全文検索システム『ひまわり』(デモンストレーション)」, 第 13 回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 2006 年 3 月

## 3 上記以外の所内業務

### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『第 4 回「外来語」言い換え提案 一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫』, 企画・編集
- 『「外来語」言い換え提案 第 1 回～第 4 回 総集編 一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫』, 企画・編集
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『国立国語研究所研究活動一覧 (平成 16 年度)』, 企画・編集

### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員

- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 運用管理部会員

#### 4 所外活動

##### イ. 学会活動

- 電子情報通信学会言語理解とコミュニケーション研究会専門委員
- 査読 国内雑誌 2件

#### 5 その他

- 「『日本語話し言葉コーパス』を『ひまわり』で利用する方法」を公開, <http://www.kokken.go.jp/lrc/>, 2005年5月



## 丸山岳彦 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 若手研究(B) 現代日本語の話しことばに現れる「言い直し表現」の体系化に関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 コーパスに基づく話し言葉文体論の構築(分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 丸山岳彦, 高梨克也, 内元清貴:「節単位情報」,『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.255-322, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間瀬洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏:「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」,『言語処理学会 第12回年次大会 発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 吉田谷幸宏, 稲益佐知子:「現代日本語の書き言葉に関する生産実態と流通実態—代表性を有する書き言葉コーパスのための基礎調査—」,『言語処理学会 第12回年次大会 発表論文集』, pp.444-447, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 稲益佐知子, 秋元祐哉:「代表性を有する書き言葉コーパスのサンプリング手法について」,『言語処理学会 第12回年次大会 発表論文集』, pp.680-683, 言語処理学会, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営
- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。ー調査・研究の“今”ー」, 企画・運営
- 第28回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 企画・運営
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何かー伝え合いの意味ー」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

## 4 所外活動

### イ. 学会活動

- 言語処理学会 編集委員
- 言語処理学会第12回年次大会 プログラム委員, 発表賞選考委員



## 高田智和 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築 (現代雑誌 200 万字言語調査)
- 日本語の現在 (実態調査)
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (インターネットによる海外提供システム)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の表記ー1994 年発行 70 誌ー (国立国語研究所報告 125)』, 2006 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 『汎用電子情報交換環境整備プログラム成果報告書』, 日本規格協会・国立国語研究所・情報処理学会, 2006 年 3 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 池田証壽, 小助川貞次, 渡辺さゆり, 高田智和: 「国家図書館(台北)所蔵本史記夏本紀とその訓点」, 『訓点語と訓点資料』, Vol. 115, pp. 63-74, 訓点語学会, 2005 年 9 月
- 石塚晴通, 豊島正之, 池田証壽, 白井純, 高田智和, 山口慶太: 「漢字字体規範データベース」, 『日本語の研究』, Vol. 1 No. 4, pp. 94-104, 日本語学会, 2005 年 10 月
- 「公共サービスと漢字」, 『日本語学』, Vol. 24 No. 13, pp. 58-66, 明治書院, 2005 年 11 月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「文字番号および部首番号の起源と応用—『大字典』と華英辞典と Rose-Innes—」, 石塚晴通教授退職記念会編『日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開』, pp. 303-322, 汲古書院, 2005年5月
- 「文字號碼和部首號碼の起源及應用」, 石塚晴通編『敦煌学・日本学』, pp. 376-391, 上海辭書出版社, 2005年12月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 池田証壽, 高田智和, 岡増裕剛: 「明治以降基本漢字集合研究史—資料の収集と整理及びその問題点—」, 『国際シンポジウム比較語彙研究Ⅶ・語彙研究セミナーⅤ』, pp. 31-38, 語彙研究会・台湾大学日本語文学系, 2005年5月
- 「漢字字体研究と文字情報データベース」, *Proceedings of the 3th International Conference for Kugyol Studies "How to Read Written Chinese and Asian Writings"*, pp. 521-533, 口訣学会・ソウル市立大学, 2005年8月
- 高田智和, 横山詔一, 米田純子: 「文字情報データベースの開発とインターネット・リサーチによる音義未詳字の検索」, 『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 デジタルアーカイブ—その理論の深化と技術の応用—』, pp. 247-254, 情報処理学会, 2005年12月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。—調査・研究の“今”—」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 企画・編集
- 『現代雑誌200万字言語調査語彙表(CD-ROM版)』, 協力

#### エ. 見学者への対応等 10件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字対応作業委員会
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字情報データベース作業委員会
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム 文字グリフ作業委員会
- 情報処理学会情報規格調査会 SC2/漢字WG小委員会

### 5 その他

- 講演, 「人名・地名の漢字と情報処理」, 札幌大学, 2005年11月
- 講演, 「句読点」, 参議院事務局記録部職員研修, 2006年2月
- 監修, 『参議院会議録用字例』, 参議院事務局記録部, 2006年2-3月



## 小沼悦 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(現代雑誌200万字言語調査)
- 日本語の現在(実態調査)

## 2 成果公表活動

### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 2006年3月
- 『現代雑誌200万字言語調査語彙表(CD-ROM版)』, 2006年3月公開

## 3 上記以外の所内業務

### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 企画・編集
- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 企画・編集
- 『現代雑誌200万字言語調査語彙表(CD-ROM版)』, 企画・編集
- 『世界のく外来語>の諸相 標準化・活性化を目指す言語政策の多様性』, 凡人社, 協力

### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員



## 間淵洋子 (特別奨励研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在(実態調査)

## 2 成果公表活動

### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 小磯花絵, 西川賢哉, 間淵洋子:「転記テキスト」, 『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.23-132, 2006年3月

### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間淵洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏:「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006年3月
- 間淵洋子, 山口昌也, 柏野和佳子, 田中牧郎:「代表性を有する書き言葉コーパスの電子化フォーマットについて」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.684-687, 言語処理学会, 2006年3月

## 3 上記以外の所内業務

### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 協力

# 研究開発部門第二領域

## 前川喜久雄 (領域長)

### 1. 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 日本語の現在(実態調査)
- 大学院教育(一橋大学:日本語教育学位取得プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(企画調査) 代表性を有する大規模な日本語書き言葉コーパスの構築と運用に関わる企画調査(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 コーパスに基づく話し言葉文体論の構築(代表者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「第1章 概説」,『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.1-22, 2006年3月
- 藤本雅子, 菊池英明, 前川喜久雄:「第6章 分節音情報」,『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.323-346, 2006年3月
- 五十嵐陽介, 菊池英明, 前川喜久雄:「第7章 韻律情報」,『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.347-454, 2006年3月
- 「第9章 CSJの検索」,『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, pp.527-542, 2006年3月
- 「第3章 音声の使い分け(2)一音響分析による検討一」,『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, pp.75-103, 2006年3月
- “Kotonoha, the Corpus Development Project of the National Institute for Japanese Language.” *Language Corpora: Their Compilation and Application (Proceedings of the 13th NIJL International Symposium.)*, pp.55-62, National Institute for Japanese Language, 2006年3月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- Kikuo Maekawa and Hideaki Kikuchi: “Corpus-based analysis of vowel devoicing in spontaneous Japanese: an interim report.” J. van de Weijer, K. Nanjo, and T. Nishihara eds. *Voicing in Japanese*, pp.205-228, Mouton de Gruyter, 2005年12月
- 「バラ言語情報と音声の生成・知覚」, 広瀬恵吉編『韻律と音声言語情報処理:アクセント・イントネーション・リズムの科学』, pp.24-34, 丸善, 2006年1月
- 「話し言葉コーパスの韻律ラベリング」, 広瀬恵吉編『韻律と音声言語情報処理:アクセント・イントネーション・リズムの科学』, pp.85-93, 丸善, 2006年1月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「NHKの発音」,『情報通信ジャーナル』, Vol.23 No.5, p.40, 電気通信振興会, 2005年5月
- 山住賢司, 籠宮隆之, 槇洋一, 前川喜久雄:「講演音声の印象評価尺度」,『日本音響学会誌』, Vol.61 No.6, pp.303-311, 日本音響学会, 2006年6月
- 「自発音声とデータベース」,『日本音響学会誌』, Vol.61 No.9, pp.544-549, 日本音響学会, 2006年9月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- “Quantitative analysis of word-form variation using a spontaneous speech corpus”, *Proceedings of Corpus Linguistics 2005*, 2005年7月
- 『日本語話し言葉コーパス』について一開発の経緯と普及の現状一, pp.1195-1198, 『日本音響学会2006年春季研究発表会講演論文集』, 日本音響学会, 2006年3月
- 「話し言葉と書き言葉」, 『言語処理学会第12回年次大会(NLP2006)発表論文集』, pp.2-3, 言語処理学会, 2006年3月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間瀬洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏: 「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第12回年次大会(NLP2006)発表論文集』, pp.440-443, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 吉田谷幸宏, 稲益佐知: 「現代日本語の書き言葉に関する生産実態と流通実態 一代表性を有する書き言葉コーパスのための基礎調査一」, 『言語処理学会第12回年次大会(NLP2006)発表論文集』, pp.444-447, 言語処理学会, 2006年3月
- 丸山岳彦, 柏野和佳子, 山崎誠, 前川喜久雄, 稲益佐知子, 秋元祐哉: 「代表性を有する書き言葉コーパスのサンプリング手法について」, 『言語処理学会第12回年次大会(NLP2006)発表論文集』, pp.680-683, 言語処理学会, 2006年3月

#### F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 『日本語話し言葉コーパス』とその応用」, 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。一調査・研究の“今”一」, 2005年5月
- 「コーパスに見る語形の変異と変化」, 第8回認知神経心理学研究会, 2005年8月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営
- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。一調査・研究の“今”一」, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 協力
- 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告123)』, 協力
- 『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, 企画・編集
- 『方言使用の場面的多様性一鶴岡市における場面差調査から一』, 協力

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会長
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 一橋大部会員
- 施設整備委員会委員
- 次期中期計画小委員会委員

#### エ. 見学者への対応等 12件

## 4 所外活動

### ア. 所外委員会

- Editorial board member of *Speech Communication*
- 言語聴覚士資格試験出題委員

### イ. 学会活動

- 日本音声学会評議員
- 日本音声学会査読委員
- 日本語学会常任査読委員
- 日本音響学会査読委員

### ウ. 教育活動

- 東京工業大学(COE21-LKR)特任教授

## 5 その他

- 取材, 朝日新聞「ニホンかニッポンか」, 2005年5月
- コメント掲載, 朝日新聞「「十」の発音」, 2006年2月
- 取材, 朝日新聞「書き言葉コーパス」, 2006年3月
- コメント掲載, 朝日新聞「「日本」の発音」, 2006年3月



## 熊谷智子 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 熊谷智子, 篠崎晃一:「第3章 依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」, 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告123)』, pp.19-54, 2006年3月
- 尾崎喜光, 杉戸清樹, 熊谷智子, 塚田実知代:「第2章 調査の概要」, 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告123)』, pp.11-18, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(編集コーディネーター, 2項目執筆), 大修館書店, 2005年10月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 熊谷智子, 石井恵理子:「会話における話題の選択」, 『社会言語科学』, Vol.8 No.1, pp.93-105, 社会言語科学会, 2005年9月

## E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 熊谷智子，木谷直之：「三者面接調査における雑談的行動 ―回答者同士の相互作用に着目して―」、『社会言語科学会第16回大会発表論文集』，pp.62-65，社会言語科学会，2005年9月
- 木谷直之，熊谷智子：「三者面接調査における回答者同士の相互作用 ―初対面の回答者の場合―」、『社会言語科学会第17回大会発表論文集』，pp.20-23，社会言語科学会，2006年3月

## F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「言葉で人とかわかり合う」，第27回「ことば」フォーラム「伝え合いの言葉―コミュニケーションの意味―」，2005年9月
- 趣旨説明・パネルディスカッション司会，第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か―伝え合いの意味―」，2006年2月

## 3 上記以外の所内業務

## ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成17年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」，企画・運営
- 第27回「ことば」フォーラム「伝え合いの言葉―コミュニケーションの意味―」，企画・運営
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か―伝え合いの意味―」，企画・運営

## イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森(国立国語研究所資料集13-1)』，刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集13-2)』，刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集13-3)』，刊行物検討委員会委員
- 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告123)』，刊行物検討委員会委員，企画・編集
- 『日本語教育の新たな文脈』，刊行物検討委員会委員

## ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 公開研究発表会部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会員

## 4 所外活動

## イ. 学会活動

- 日本語教育学会学会誌委員
- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 25件

## 5 その他

- 執筆，「会話の進め方」，『文化庁月報』No.443，p.29，文化庁，2005年8月

## 尾崎喜光 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 日本語の対人配慮表現の多様性 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 2006年3月
- 「第4章 依頼・勧めに対する受諾における配慮の表現」, 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告123)』, pp. 55-88, 2006年3月
- 「第5章 依頼・勧めに対する断りにおける配慮の表現」, 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告123)』, pp. 89-114, 2006年3月
- 「第2章 音声の使い分け(1)―これまでの調査方法でとらえてきたもの―」, 『方言使用の場面的多様性―鶴岡市における場面差調査から―』, pp. 15-73, 2006年3月
- 杉戸清樹, 尾崎喜光: 「第1章 「敬意表現」から「言語行動における配慮」へ」, 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告123)』, pp. 1-10, 2006年3月
- 尾崎喜光, 杉戸清樹, 熊谷智子, 塚田実知代: 「第2章 調査の概要」, 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告123)』, pp. 11-18, 2006年3月
- 尾崎喜光, 杉戸清樹: 「第1章 研究目的と調査概要」, 『方言使用の場面的多様性―鶴岡市における場面差調査から―』, pp. 1-13, 2006年3月
- 朝日祥之, 尾崎喜光: 「第5章 文法の使い分け」, 『方言使用の場面的多様性―鶴岡市における場面差調査から―』, pp. 133-167, 2006年3月
- 朝日祥之, 尾崎喜光: 「第6章 敬語の使い分け」, 『方言使用の場面的多様性―鶴岡市における場面差調査から―』, pp. 169-200, 2006年3月
- 

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「ケース1 女のことば・男のことば」, 上野智子, 佐藤和之, 定延利之, 野田春美編『ケーススタディ 日本語のパラエティ』, pp. 6-11, おうふう, 2005年10月
- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「言語行動の地域差」執筆), pp. 476-477, 大修館書店, 2005年10月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「<言葉をもつめる> 第4回 年齢と言葉」, 『文化庁月報』, p. 29, ぎょうせい, 2005年7月
- 「依頼行動と感謝行動から見た日韓の異同」, 『日本語学』, Vol. 24 No. 8, pp. 42-51, 明治書院, 2005年7月
- 「依頼行動と感謝行動の〈関係〉に関する日韓対照」, 『社会言語科学』, Vol. 8 No. 1, pp. 106-119, 社会言語学会, 2005年9月

#### E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「「ちげーよ」って何?」, 日本放送協会・日本放送出版協会編『NHKアナウンサーのはなすきくよむ』, pp. 38-43, 2005年4月
- 「シンポジウム<知られざる地域差を探る> 敬語表現選択行動の地域差」, 『日本方言研究会第80回研究発表会予稿集』, pp. 71-76, 日本方言研究会, 2005年5月

#### F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 「【解説】「ちげーよ」って何?」, 「NHK アナウンサーの はなす きく よむ」(NHK ラジオ第2放送の番組), 2005年5月
- 「【講演】方言(固有語)と共通語を考える」, OWS 主催: 声とことばのシンポジウム No.1 表現者としての声, 言葉, 今そしてこれから一芸の日本語を考える—シンポジウムII—, 2005年8月
- 「【講演】大量の発話データから待遇表現を探る—最近の国立国語研究所の調査から—」, 第4回 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 企画・編集
- 『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, 刊行物検討委員会委員
- 『世界の言語テスト』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会長

### 4 所外活動

#### ウ. 教育活動

- 文教大学文学部非常勤講師

### 5 その他

- 講演, 「年齢と言葉」, 練馬公民館「寿大学」, 2005年4月
- 講演, 「教育現場における言葉の適切さを考える—対称詞に対する中学生の評価意識—」, 東京都大田区立御園中学校校内研修会, 2005年7月



## 大西拓一郎 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(方言文法全国地図)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 地理情報システム言語地図の開発(代表者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『方言文法全国地図 第6集(国立国語研究所報告97-6)』, 2006年3月
- 「分布から見た方言文法」, 大西拓一郎編『方言における文法形式の成立と変化に関する研究』, pp.1-10, 科研費報告書, 2006年3月
- 「総論」, 大西拓一郎編『方言文法調査ガイドブック2』, pp.1-2, 科研費報告書, 2006年3月
- 「否定表現」, 大西拓一郎編『方言文法調査ガイドブック2』, pp.51-80, 科研費報告書, 2006年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- “Application of GIS technology to the studies in Japanese dialectology”, *Twelfth International Conference on Methods in Dialectology*, pp.1-10, 2005年8月

3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 国語研の窓部会長

エ. 見学者への対応等 3件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会編集委員

ウ. 教育活動

- 東京女子大学非常勤講師
- 群馬県立女子大学非常勤講師

5 その他

- 取材協力, 「ネット時代の方言」, 中日新聞, 2005年7月
- 取材協力, 「見直される方言の魅力」, 朝日中学生ウイークリー, 2005年9月
- 取材協力, 日本語の現場 方言の今3 素直な略し方はマクド, 読売新聞, 2005年11月
- 取材協力, 不思議ヒットを斬る 【方言グッズ】, 日経トレンドィ, 2005年11月
- 取材協力, 日本語の現場 方言の今31 古くは野菜も米も「煮る」, 読売新聞, 2006年2月
- 取材協力, この国のみそ 西の方言堰き止め 境界地帯, 中日新聞, 2006年2月
- 監修, 全国方言カルタ, 日経キッズプラス, 2006年2月



## 三井はるみ (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (方言文法全国地図)
- 日本語の現在 (国語力調査等)
- 大学院教育 (政策研究大学院大学: 日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語諸方言の条件表現に関する対照研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『話し言葉における敬語形式の出現実態』, 2005年11月
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, コラム1件, 2006年3月

- 『方言文法全国地図 第6集(国立国語研究所報告97-6)』, 2006年3月
- 「副助詞(付:接尾辞)」, 大西拓一郎編『方言文法調査ガイドブック2』, pp.25-42, 科学研究費補助金基盤研究(B)方言における文法形式の成立と変化に関する研究(研究代表者:大西拓一郎)研究成果報告書, 2006年3月
- 三井はるみ, 井上文字:「『全国方言談話データベース』にみる方言のオノマトペ」, 大西拓一郎編『方言における文法形式の成立と変化に関する研究』, pp.21-42, 科学研究費補助金基盤研究(B)方言における文法形式の成立と変化に関する研究(研究代表者:大西拓一郎)研究成果報告書, 2006年3月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.6, pp.82-83, 明治書院, 2005年6月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.12, pp.88-89, 明治書院, 2005年12月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 井上文字, 三井はるみ:「方言談話の中の地域差・世代差・場面差—方言談話の収録と活用のために—」, 真田信治監修, 中井精一, 内山純蔵, 高橋浩二編『日本海総合研究プロジェクト4日本のフィールド言語学—新たな学の創造に向けた富山からの提言—』, pp.158-173, 桂書房, 2006年3月

#### F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「指定討論:方言音声学の立場から」, 日本音声学会第19回全国大会シンポジウム「見て理解する音声学」, 2005年9月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の漢字調査(頻度表)』, 協力
- 『「現代雑誌の語彙調査」に基づく漢字音訓一覧表』, 協力
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 協力
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森(国立国語研究所資料集13-1)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集13-2)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集13-3)』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 ホームページ部会員
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員

#### エ. 見学者への対応等 3件

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 日本方言研究会世話人
- 日本音声学会企画委員

#### ウ. 教育活動

- 共立女子大学文芸学部非常勤講師
- 千葉大学教育学部非常勤講師

## 5 その他

- 執筆, 「こちら国語研究所: あいさつは決まり文句?」, 『NHK アナウンサーのはなすきくよむ』, pp. 72-77, 日本放送出版協会, 2005年4月
- 執筆, 「質疑応答: 日本語の方言」, 『日本医事新報』No.4226, pp. 100-101, 日本医事新報社, 2005年4月
- 執筆, 「言葉をつめる: 表現法の地域差」, 『文化庁月報』No.441, ぎょうせい, 2005年6月
- 監修・出演, 「知って楽しい! 方言」, 東放学園専門学校番組制作実習, 2005年6月
- 書評, 「病者のことばで受けとめる医療」, 『日本医事新報』No.4235, p. 49, 日本医事新報社, 2005年6月
- 出演, 「こちら国語研究所: あいさつは決まり文句?」, NHK ラジオ第2放送「NHK アナウンサーのはなすきくよむ」, 2005年7月
- 執筆, 「質疑応答: 「腹がせく」という表現」, 『日本医事新報』No.4242, p. 105, 日本医事新報社, 2005年8月
- 監修, 「にほんぜんこくラーメンずかん」, 『よいこのがくしゅう』44-9, pp. 10-11, 2005年12月
- 監修, 『日本語学論資料』40, 日本語学論説資料保存会, 2005年12月



## 小磯花絵 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 科学研究費補助金 若手研究(B) 自発音声コーパスを用いた音声転訛現象の言語内的・外的要因の分析(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 話し言葉コーパスに基づく言語変異現象の定量的分析(分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 2006年3月
- 『日本語話し言葉コーパスの構築法(国立国語研究所報告124)』, 2006年3月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「話しことばにみられる「場つなぎ表現」」, 『文化庁月報』No. 444, p. 29, ぎょうせい, 2005年9月
- 「「場つなぎ表現」が聞き手に与える印象」, 『情報通信ジャーナル』, Vol. 24 No. 3, p. 28, 財団法人電気通信振興会, 2006年3月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 前川喜久雄, 菊池英明, 籠宮隆之, 山口昌也, 小磯花絵, 小椋秀樹: 「日本語話し言葉コーパス」の構築における計算機利用」, 宮地裕編『「日本語学」特集テーマ別ファイル IT 関連』, Vol. 6, pp. 223-241, 明治書院, 2005年6月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 『「日本語話し言葉コーパス」を用いた対話と独話の比較—韻律的特徴に着目して—』, 『社会言語科学会第17回大会発表論文集』, pp. 190-193, 社会言語科学会, 2006年3月
- 山崎誠, 前川喜久雄, 田中牧郎, 小椋秀樹, 柏野和佳子, 小磯花絵, 間瀬洋子, 丸山岳彦, 山口昌也, 秋元祐哉, 稲益佐知子, 吉田谷幸宏: 「代表性を有する現代日本語書き言葉コーパスの設計」, 『言語処理学会第12回年次大会予稿集』, pp. 440-443, 言語処理学会, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 企画・運営

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員

#### エ. 見学者への対応等 3件

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 社会言語科学会事業委員
- 社会言語科学会企画委員
- 査読 国内雑誌 4件
- 査読 海外雑誌 1件

# 日本語教育部門

## 柳澤好昭 (部門長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 日本語教育研修(遠隔研修)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム/政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究(代表者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「1977年から2000年までの研修が求めてきたものと果たした役割, センター運営委員会, 教師教育研究会, 修了生にとっての日本語教育長期専門研修」, 『目的別・課題別の研修に関する研修報告資料』, 2006年3月公開

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「日本語教育史年表」「9 教育・学習・メディア」「対象別日本語教育」「帰国子女の言語生活」執筆), 大修館書店, 2005年10月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2005年版』, 協力
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, 刊行物検討委員会委員長
- 『目的別・課題別の研修に関する研修報告資料』, 企画・編集
- 『世界の言語テスト』, 刊行物検討委員会委員長

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員

- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会長
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員
- 外来語所内委員会委員

#### 4 所外活動

##### ア. 所外委員会

- 財団法人言語文化研究所評議員

##### イ. 学会活動

- 社団法人日本語教育学会評議員
- 社団法人日本語教育学会大会委員会委員

##### ウ. 教育活動

- 拓殖大学言語文化研究所非常勤講師
- 朝日カルチャーセンター非常勤講師

# 日本語教育部門第一領域

## 井上優 (領域長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (国内外学習環境調査, 言語テスト調査)
- 日本語教育研修 (長期研修/短期研修)
- 大学院教育 (一橋大学: 日本語教育学位取得プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 対照研究の成果を生かした中国語母語話者向け日本語文法教材の開発 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 東アジア諸語のカテゴリー化と文法化に関する対照研究—多様性から普遍性へ— (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語学習者の書き言葉に関する対照言語学的・文章論的研究 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 言葉のクリップボード 1 件, 2006 年 3 月
- 『第 12 回国立国語研究所国際シンポジウム報告書「世界の日本語研究の新たな発展を求めて」』, 2006 年 3 月
- 『第 13 回国立国語研究所国際シンポジウム予稿集・報告書「言語コーパスの構築と活用」』, 2006 年 3 月
- 「言語データとしての作文対訳データベース」, 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, 2006 年 3 月
- 「各章概説」, 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, 2006 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「日本語の特性」, 中島平三編『言語の事典』, pp.652-674, 朝倉書店, 2005 年 7 月
- 「学習者の母語を考慮した日本語教育文法」, 野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』, pp.83-102, くろしお出版, 2005 年 10 月
- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「ル形」「タ形」執筆), 大修館書店, 2005 年 10 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「書評空間 (『在日コリアンの言語相』)」, 『月刊言語』, Vol. 34 No. 6, p.117, 大修館書店, 2005 年 5 月
- 「新刊・寸感 (『漢語からみえる世界と世間』)」, 『日本語学』, Vol. 24 No. 8, pp.80-81, 明治書院, 2005 年 7 月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座 (第 1 回): ことばを比べて考える」, 『月刊日本語』, Vol. 18 No. 9, pp.64-67, アルク, 2005 年 8 月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座 (第 2 回): 対照研究の「種」いろいろ」, 『月刊日本語』, Vol. 18 No. 10, pp.48-51, アルク, 2005 年 9 月
- 「なるほど言葉の万人向け設計 (第 11 回): 外来語とのつきあい方—中国—」, 『情報通信ジャーナル』, Vol. 23 No. 9, p.40, 財団法人電気通信振興会, 2005 年 9 月
- 「なるほど言葉の万人向け設計 (第 12 回): 人名の省エネ発音」, 『情報通信ジャーナル』, Vol. 23 No. 10, p.40, 財団法人電気通信振興会, 2005 年 10 月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座 (第 3 回): 学習者の誤用から考える」, 『月刊日本語』, Vol. 18 No. 11, pp.42-45, アルク, 2005 年 10 月

- 「日本・中国・韓国対照言語講座（第4回）：授受表現をめぐる」、『月刊日本語』, Vol. 18 No. 12, pp. 42-45, アルク, 2005年11月
- 「方言の文法いろいろ—終助詞—」、『文化庁月報』No. 446, p. 29, 文化庁, 2005年11月
- 「新刊・寸感（『コミュニケーションのための日本語教育文法』）」、『日本語学』, Vol. 25 No. 1, pp. 98-99, 明治書院, 2005年12月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座（第5回）：学習者の母語を活用する」、『月刊日本語』, Vol. 19 No. 1, pp. 46-49, アルク, 2005年12月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座（第6回）：個別言語研究と対照研究」、『月刊日本語』, Vol. 19 No. 2, pp. 46-49, アルク, 2006年1月
- 「ことばに「文法」を見る」、『時報市町村教委』No. 200, pp. 17-19, 全国市町村教育委員会連合会, 2006年1月
- 「日本・中国・韓国対照言語講座（最終回）：日本語と関連付けて考える」、『月刊日本語』, Vol. 19 No. 3, pp. 58-61, アルク, 2006年2月
- 「日本語から見た中国語」、『日本語学』, Vol. 25 No. 3, pp. 26-33, 明治書院, 2006年3月

#### E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 井上優, 生越直樹, 木村英樹, 鷺尾龍一：「日本語・中国語・韓国語から見た受動文の類型」、『日本言語学会第131回大会予稿集』, pp. 54-59, 日本言語学会, 2005年11月

#### F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「学習者の母語を考慮した日本語教育文法について」, 北京日本学研究中心国際シンポジウム, 2005年10月
- 「日本語学習者の日本語作文と母語の作文の比較—作文対訳 DB の活用について考えるために—」, 日本語教育短期研修第1回「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 2006年1月
- 「言語データとしての作文対訳データベース」, 日本語教育短期研修第4回「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 2006年3月
- 「コメント」, 日本語教育短期研修第5回「語彙教育のためのコーパスの活用」, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第13回国立国語研究所国際シンポジウム「言語コーパスの構築と活用」, 協力
- 日本語教育短期研修第1回「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 企画・運営
- 国立国語研究所日本語教育シンポジウム（日本語教育短期研修第2回）「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第3回「作文採点者間ミーティングの運営と教育現場での実践について」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第4回「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第5回「語彙教育のためのコーパスの活用」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』17, 企画・編集
- 『日本語科学』18, 企画・編集
- 『日本語教育論集』22, 協力
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『国立国語研究所日本語教育シンポジウム（平成17年度第2回日本語教育短期研修）日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—』, 協力
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森（国立国語研究所資料集13-1）』, 刊行物検討委員会委員

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集13-2)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集13-3)』, 刊行物検討委員会委員
- 『言語行動における「配慮」の諸相(国立国語研究所報告123)』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット2 日本語教材と著作権(改訂版)』, 企画・編集
- 『世界の言語テスト』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部部长
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会員
- 大学院運営委員会 一橋大部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員
- 次期中期計画小委員会委員

#### エ. 見学者への対応等 2件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 明治書院『日本語学』編集委員

#### イ. 学会活動

- 日本語学会評議員
- 日本言語学会大会運営委員
- 日本語教育学会評議員・学会誌委員
- 日本語文法学会評議員・大会運営委員
- 日本中国語学会編集委員

#### ウ. 教育活動

- 神田外語大学非常勤講師
- 千葉大学非常勤講師(集中講義)
- 金沢大学非常勤講師(集中講義)
- 国際交流基金日本語国際センター中国大学日本語教師研修講師

## 宇佐美洋（主任研究員）

### 1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究（作文対訳コーパス／音声データベース試作）
- 日本語教育研修（短期研修）
- 大学院教育（政策研究大学院大学：日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語学習者の書き言葉に関する対照言語学的・文章論的研究（代表者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「国立国語研究所プロジェクトから 1 日本語学習者による日本語作文と、その母語訳との対訳データベース」、『日本語教育年鑑 2005 年版』, pp. 53-58, 2005 年 11 月
- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 問答 1 件, 2006 年 3 月
- 「『作文対訳データベース』作成の目的とその多様な活用について」, 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, pp. 9-42, 2006 年 3 月
- 宇佐美洋, 鎌水兼貴: 「XML による作文添削情報表示システム」仕様の発展について」, 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, pp. 53-78, 2006 年 3 月
- 「フランス語母語話者の日本語作文における「意図不明表現」の分析—母語訳との対照から見る「分かりにくさ」の理由—」, 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, pp. 81-99, 2006 年 3 月
- 「学習者作文に対する教師コメントの分析—実態の把握・分析と、そこから得られる提言—」, 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, pp. 145-163, 2006 年 3 月

#### C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文

- ボイクマン総子, 宇佐美洋: 「友人間での謝罪時に用いられる語用論的方策—日本語母語話者と中国語母語話者の比較—」, 『語用論研究』No. 7, pp. 31-44, 日本語用論学会, 2005 年 12 月

#### F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「学習者作文に対する教師コメントの分析」, 日本語教育短期研修第 1 回 「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 2006 年 1 月
- 「学習者作文に対する教師コメントの分析」, 日本語教育短期研修第 4 回 「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 2006 年 3 月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会 「シソーラスの編纂と活用」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 1 回 「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 4 回 「『作文対訳データベース』の多様な活用のために」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』17, 企画・編集
- 『日本語科学』18, 企画・編集
- 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のた

めに』、刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員

#### エ. 見学者への対応等 2件

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 4件

#### ウ. 教育活動

- 大東文化大学非常勤講師
- 愛知県立大学非常勤講師



## 金田智子 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究 (国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析／各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (国内外学習環境調査, 言語テスト調査)
- 日本語教育研修 (長期研修／短期研修)
- 大学院教育 (政策研究大学院大学: 日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語教育における協働志向の実践研究に関する調査研究 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 台湾アンケート調査集計結果報告書 (中国語版)』, 2005年8月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 2005年12月
- 『国立国語研究所日本語教育シンポジウム(平成17年度第2回日本語教育短期研修) 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—』, 2006年2月
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 「学習者の学び方から学ぶ—台湾調査より—」, 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, pp.179-191, 2006年3月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 2006年3月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書 (マレー語版)』, 2006年3月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 オーストラリアアンケート調査集計結果報告書』, 2006年

## 3月公開

- 『日本語教育ブックレット2 日本語教材と著作権(改訂版)』, 2006年3月
- 『目的別・課題別の研修に関する研修報告資料』, 2006年3月公開
- 『国語研の窓』, 1件

## B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(項目執筆), 日本語教育学会, 2005年10月

## C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「「ことばを学ぶ」方法について考える」, 『NHKアナウンサーのはなす きく よむ』, pp.168-175, 日本放送出版協会, 2005年4月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.24 No.10, pp.84-85, 明治書院, 2005年9月
- 小河原義朗, 金田智子, 笠井淳子:「海外における日本語学習者の学習環境と学習手段(研究所報告)」, 『日本語科学』18, pp.111-123, 2005年10月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』, Vol.25 No.3, pp.88-89, 明治書院, 2006年3月

## E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「学習者の学び方から学ぶ—日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究をもとに—」, 『台湾日本語文学会2005年度日本語文学術研討会会議手帳』, pp.22-29, 台湾日本語文学会, 2005年12月
- 金田智子, ロビン-スペンス-ブラウン, 岡部真理子他:「パネルセッション「学習を促すリソースとは?」」, 『国立国語研究所日本語教育シンポジウム(平成17年度第2回日本語教育短期研修) 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—』, pp.67-68, 国立国語研究所, 2006年2月

## 3 上記以外の所内業務

## ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 国立国語研究所日本語教育シンポジウム(日本語教育短期研修第2回)「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—」, 企画・運営

## イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』22, 企画・編集
- 『日本語教育年鑑2005年版』, 協力

## ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会員
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員

## エ. 見学者への対応等 2件

## 4 所外活動

## ア. 所外委員会

- 日本言語文化研究会運営委員
- 広島大学留学生センター客員研究員

## イ. 学会活動

- 社団法人日本語教育学会評議員
- 社団法人日本語教育学会教師研修委員会委員

- 日本総合学会評議員
- 査読 国内雑誌 7件

#### ウ. 教育活動

- 津田塾大学非常勤講師
- 国際交流基金日本語教育フェローシップ・プログラム指導担当
- 日本語教育学会主催日本語教育研究コース・コーディネーター
- 日本語教育学会主催集中日本語教師研修コース講師
- 海外技術者研修協会日本語教師研修講師

#### 5 その他

- 出演, 「NHK アナウンサーの はなす きく よむ」NHK ラジオ第2放送, 2006年1月



## 杉本明子 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(国内外学習環境調査, 言語テスト調査)
- 日本語教育研修(短期研修)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム/政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「世界の言語テスト—第二言語の作文テストの発展・現状・今後の課題」, 『日本語教育年鑑 2005年版』, pp. 59-64, 2005年11月
- 「ヨーロッパの言語テストの共通枠組み —ALTE Framework—」, 『世界の言語テスト』, pp. 25-40, 2006年3月
- 「イギリスの言語テスト —ケンブリッジ英語検定試験—」, 『世界の言語テスト』, pp. 43-71, 2006年3月
- 「第2言語としてのオランダ語検定試験の導入とその社会的影響」, 『世界の言語テスト』, pp. 131-158, 2006年3月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「電子メールを利用した外国語学習—コミュニケーション・アプローチと添削指導法の比較—」, 日本教育心理学会編『日本教育心理学会第47回総会発表論文集』, p. 516, 2005年9月
- 「電子メールによる2つの外国語教育実践とその効果の比較 —文章の長さ・構造と言語能力の比較—」, 社会言語科学会編『社会言語科学会第17回大会発表論文集』, pp. 162-164, 2006年3月

#### F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- “What do computer networks imply for the future of writing education?”, C&I研究会, 2006年7月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『世界の言語テスト』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集

- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 刊行物検討委員会委員

#### 4 所外活動

##### イ. 学会活動

- 所外学会 1件
- 査読 国内雑誌 6件

##### ウ. 教育活動

- お茶の水女子大学非常勤講師



## 福永由佳 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析／各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育研修(長期研修)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 今後の日本語教師教育のための指導者とリーダーシップに関する研究(分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 浜田麻里, 林さと子, 福永由佳, 文野峯子, 宮崎妙子:「日本語学習者と学習環境の相互作用をめぐって」, 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, pp.67-102, 2006年3月
- 永山友子, 武田誠, 福永由佳, 土井眞美:「接触場面の実態を反映した日本語教育に向けて—留学生と日本人大学生の共同作業場面における「確認」の分析をもとに—」, 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, pp.142-171, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件

#### 2 上記以外の所内業務

##### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, 企画・編集

##### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 図書選定部会員

#### 4 所外活動

##### ア. 所外委員会

- 所外委員会 1件

## 小河原義朗 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (国内外学習環境調査, 言語テスト調査)
- 日本語教育研修 (長期研修)
- 大学院教育 (政策研究大学院大学: 日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 若手研究(B) 外国人の日本語の発音に対する日本人評価の研究-方法論の検討と日本語教育への応用- (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 多元メディアによる遠隔日本語学習支援システムの研究 (分担者)
- 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 若手先端 IT 研究社育成型研究開発 発話を重視した日本語 e-Learning システムの開発 (分担者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 IT 技術者養成向け日本語教育 e-Learning システムに関する研究 (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 2005 年 12 月
- 『『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究』の概要と成果』, 『国立国語研究所日本語教育シンポジウム(平成 17 年度第 2 回日本語教育短期研修) 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—』, pp. 3-6, 2006 年 2 月
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 2006 年 3 月
- 小河原義朗, 笠井淳子, 石井恵理子: 「韓国調査にみるインタビュー調査方法の検討—インタビュー調査によって学習者から引き出されたもの—」, 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 2006 年 3 月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書 (マレー語版)』, 2006 年 3 月
- 『国語研の窓』, 1 件

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 小河原義朗, 河野俊之: 「音声教育について考える」, 『月刊日本語』, アルク, 2005 年 4 月-8 月連載
- 小河原義朗, 金田智子, 笠井淳子: 「海外における日本語学習者の学習環境と学習手段」, 『日本語科学』 18, pp. 111-123, 2005 年 10 月
- 小河原義朗, 笠井淳子, 石井恵理子: 「学習者は何をどのように用いて学習しているのか?—日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—」, 『日本学報』, Vol. 65 No. 1, pp. 145-156, 韓国日本学会, 2005 年 11 月

#### E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「教室のウチとソトをつなぐメタ認知」, 『日本教育心理学会第 47 回総会発表論文集』, p. 23, 日本教育心理学会, 2005 年 9 月
- 高橋亜紀子, 小河原義朗, 才田いずみ, 井口寧, 堀井洋, 川添良幸: 「システム・エンジニア向け日本語学習コースウェアの開発」, 『日本語教育方法研究会誌』, Vol. 12 No. 2, 日本語教育方法研究会, 2005 年 9 月

#### F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- Yoshiro OGAWARA, Izumi SAITA, Akiko TAKAHASHI, Yasushi INOBUCHI, Hiroshi HORII, Yoshiyuki KAWAZOE : “e-Learning Courseware for System Engineers Learning Japanese”, JSAA, 2005 年 7 月
- 小河原義朗, 岡部真理子: 「地域における日本語学習リソースの活用について」, 平成 17 年度文化庁日本語教育大会日本語教育研究協議会, 2005 年 8 月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 国立国語研究所日本語教育シンポジウム（日本語教育短期研修第2回）「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』22, 企画・編集
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『国立国語研究所日本語教育シンポジウム(平成17年度第2回日本語教育短期研修) 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究—海外調査の成果と展望—』, 企画・編集
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 企画・編集
- 『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書 (マレー語版)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会員

#### エ. 見学者への対応等 1件

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 日本語教育学会研究集会委員会中央委員
- 日本語教育方法研究会運営委員
- 日本語教育学会学会誌委員会委員
- 査読 国内雑誌 16件

#### ウ. 教育活動

- 実践女子大学非常勤講師

### 5 その他

- コーディネーター, 日本語教育学会平成17年度実践研究フォーラムラウンドテーブル「教室のウチとソト」, 2005年8月
- 講師, 国立国語研究所・国際交流基金クアラルンプール日本文化センター共催 「2005年度マレーシア日本語教育セミナー: 学習者のまわりにある日本語, そして, 日本語学習を考える」, 2006年3月

## 菅井英明 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(国内外学習環境調査, 言語テスト調査)
- 日本語教育研修(長期研修)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム/政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 第二言語によるライティングについての基礎研究: Good writing とは何か(分担者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, コラム1件, 2006年3月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「テストとして見た日本語教育能力検定試験聴解試験の構成概念」, 財団法人日本国際教育支援協会編『音声を媒体としたテスト問題によって測定される日本語教員の能力に関する基礎的調査研究』, pp.75-87, 財団法人日本国際教育支援協会, 2005年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第3回「作文採点者間ミーティングの運営と教育現場での実践について」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『世界の言語テスト』, 刊行物検討委員会委員
- 『世界の<外来語>の諸相 標準化・活性化を目指す言語政策の多様性』, 凡人社, 2005年12月, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- e-FLT(Electronic Journal of Foreign Language Teaching, Singapore), International Advisory Board.

#### ウ. 教育活動

- 恵泉女学園大学非常勤講師

# 日本語教育部門第二領域

## 野山広 (領域長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築(日本語教育年鑑)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育支援総合ネットワーク/日本語教育教材の素材提供/バーチャル日本語情報資料館システム)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム/政策研究大学院大学:日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 多文化共生社会に対応した言語教育政策の構築に向けた学際的研究(代表者)

### 2 成果公表活動

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編、『新版 日本語教育事典』(「日本留学試験」「機関間の連携ネットワーク」「日本語教育関連機関(国際協力)」「日本語教育関連省庁」執筆,「日本語教育史年表」作成・編集),大修館書店,2005年10月
- 真田信治,庄司博司編集『日本の多言語社会』(「日本の外国人言語政策」「日本語学習指導・補助」「外国人入試特別枠」「外国の日本人学校」執筆),岩波書店,2005年10月
- 「日本語教育に関する施策の展開」,文化庁編『国語施策百年史』(付録第3節),pp.773-789,ぎょうせい,2006年1月

#### C 学術雑誌,商業雑誌等に掲載された論文

- 「多文化共生社会に対応した外国人受入れ施策や言語教育施策の在り方に関する一考察—諸外国の受入れ施策や言語教育施策を事例として—」,『言語政策』,1号,pp.37-62,日本言語政策学会,2005年3月(昨年度未掲載)
- 「情報通信技術(IT)活用した日本語教育の可能性—eJapanの成果を事例として—」,「第3回ブラジル日本研究国際シンポジウム・第16回全伯日本語・日本文学・日本文化学会」予稿集,p.19,全伯日本語・日本文学・日本文化学会,2005年9月
- 「日本語学習者の言語生活と日本語に対する意識」,『時報 市町村教委』,No.198(平成17年9月),pp.15-16,全国市町村教育委員会連合会編集,2005年9月
- 日本語教育学会の「海外の学会から」(報告)「第3回ブラジル日本研究国際シンポジウム・第16回全伯日本語・日本文学・日本文化学会(2005年9月8日~9日,ブラジル:ブラジリア)」,『日本語教育』,128号,p.143,2006年1月
- 「日本語教育の現状と今後の展望—多文化共生社会の構築に向けて—」,『教育開発 Educational Development』,第1号,pp.13-36,東海大学教育開発研究所,2006年3月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「現代世界の人の移動と日本語教育」,縫部義憲監修・水島裕雅編集『講座・日本語教育学第1巻 文化の理解と言語の教育』(第3章「国際交流の中の日本語教育」,pp.140-154,スリーエーネットワーク,2005年6月)
- 「地域の社会状況と言語生活支援活動の実態から見えてくること」多文化共生の時代に応じた日本語教育のあり方」,日比谷潤子,平高史也編著『多言語社会と外国人の学習支援』,pp.1-9,慶應大学出版会,2005年10月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 野山広, 伊東祐郎, 横溝紳一郎, 嶋田和子, 當作靖彦:「日本語教師の実践能力の育成・評価に関する再検討—研修と評価のあるべき姿の探求—」,『2005年度 日本語教育学会春季大会予稿集』, pp. 271-282, 社団法人日本語教育学会, 2005年5月
- 「多文化共生社会の構築に向けた人材研修の在り方に関する一考察—地域日本語支援コーディネータやボランティア研修の展開を事例として—」,『異文化間教育学会第26回大会発表抄録』, pp. 96-97, 異文化間教育学会, 2005年5月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。—調査・研究の“今”—」, 協力
- 第26回「ことば」フォーラム「ことばと国際理解—国際理解につながることばの教育—」, 企画・運営
- 第27回「ことば」フォーラム「伝え合いの言葉—コミュニケーションの意味—」, 企画・運営
- 第28回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 協力
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か—伝え合いの意味—」, 企画・運営
- 日本語教育研修に関する懇談会「今後の教師教育・研修に期待されること—国語研究所の役割」(2005年12月), 企画・運営

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会長
- 施設整備委員会委員

#### エ. 見学者への対応等 2件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 文化庁委嘱「学校の余裕教室等を活用した親子参加型の日本語教室事業」(新宿区), 協力者
- 「難民支援のための日本語支援関係団体連絡会議」, 協力者
- 「日本語能力試験改善に関する検討会」(国際交流基金), 協力者

#### イ. 学会活動

- 日本語教育学会学会誌委員, 評議員
- 査読 国内雑誌 11件

#### ウ. 教育活動

- 早稲田大学非常勤講師
- 自治医科大学非常勤講師
- 朝日カルチャーセンター講師

### 5 その他

- 司会, 「バイリンガル教育—ろう児に対する言語教育の在り方と言語的人権」, 『異文化間教育学会第 26 回大会発表抄録』, pp. 134-135, 異文化間教育学会, 2005 年 5 月
- 講演, 「多文化共生社会と日本語教育の可能性」, スリーエーネットワーク主催の参加型日本語学習支援の研修, 仙台市情報・産業プラザ, 2005 年 6 月
- 講演, 「日本における言語政策としての日本語教育の現状と課題」, 平成 17 年度青年のための国際理解講座, 武蔵野市国際交流協会主催, 2005 年 7 月
- 講演, 「日本語教育の方向性—その可能性と醍醐味—」, 平成 17 年度大阪府教育委員会教員研修, piaNPO, 2005 年 7 月
- 講義, 山田泉氏 (法政大学教授) との連携講義, 「日本語教育と日本の言語政策—留学生政策から見えてくること—」 JAFSA 夏期研修, 軽井沢, 2005 年 7 月
- コメンテータ, 第 2 分科会「子どもたちの日本語学習力と学力との関係は」, 全海研・全国大会「世界と子どもをひらき, つなぐ教育をめざして—地球時代を生きる学力と学びづくり—」, 東京女学館, 2005 年 8 月
- パネリスト, 「情報通信技術 (IT) 活用した日本語教育の可能性—eJapan の成果を事例として—」, パネルディスカッション I「日本研究と国際的な学術交流」, 「第 3 回ブラジル日本研究国際シンポジウム・第 16 回全伯日本語・日本文学・日本文化学会」, 全伯日本語・日本文学・日本文化学会, ブラジリア大学, 2005 年 9 月
- 講師, 「地域における日本語学習支援の醍醐味と可能性」, 2005 年度第 6 回日本語学習支援ボランティア養成講座 (主催: 町田国際交流センター), 2005 年 9 月
- 司会, 分科会 (個人発表)「リテラシーズ国際研究集会 ことば・文化・社会の言語教育」, 国際集会「ことば・文化・社会の言語教育」実行委員会主催, 早稲田大学井深大記念ホール, 2005 年 9 月
- 講師, 「地域における日本語学習支援活動から見えてくること—日本語交流活動の可能性と醍醐味—」, 武蔵野市国際交流協会主催日本語交流員研修, 2005 年 10 月
- 講師, 「外国籍住民の日本語学習保障—多文化共生の時代に応じた日本語教育の在り方について考える—」, 福島県国際交流協会主催ボランティア研修, 郡山市労働福祉会館中ホール, 2005 年 10 月
- パネリスト, 「言語の普及政策」 「日本の言語外交 3—情報の移動は国境を越えた。—」, 弘前大学人文学部 (日本の言語外交プロジェクト室) 主催フォーラムディスカッション, 2005 年 11 月
- 講師, 「地域における日本語教育—その可能性を探る」, 世田谷区 (教育委員会) 主催ボランティア研修, 池之上青少年会館, 2005 年 11 月
- コーディネータ, 「年少者日本語教育学を考える会」, 第 3 回研究集会 (発起人: 池上摩希子, 石井恵理子, 川上郁雄, 齋藤ひろみ, 野山広), 2005 年 11 月
- 講師, 「何で日本語やるの—日本語を学ぶことの醍醐味について—」, 魚沼日本語交流ネット・夢っくす共催ボランティア研修, 2005 年 11 月
- パネリスト, 「多文化共生社会に対応した言語の教育—「何で日本語やるの?」という観点から—」 「英語教育が目指すべき道を求めて—英語教育政策を考える—」, 慶應義塾大学英語教育公開シンポジウム (プログラム), pp. 14-16, 慶應義塾大学 21 世紀 COE 人文科学研究拠点「心の統合的研究センター」, 2005 年 12 月
- 講師, 「地域日本語教育って何?」, 足立区日本語ボランティア研修, 2005 年 12 月
- 講師, 「地域日本語学習支援活動—その可能性と醍醐味」, 川崎市 (教育委員会) 主催ボランティア研修, 麻生市民会館, 2006 年 1 月
- 講師, 「地域における日本語学習支援の醍醐味—その可能性と連携構築の重要性」, 長野県国際交流推進協会主催ボランティア研修, 2006 年 2 月
- コーディネータ・司会, 「年少者日本語教育学を考える会」, 第 4 回研究集会 (発起人: 池上摩希子, 石井恵理子, 川上郁雄, 齋藤ひろみ, 野山広), 2006 年 2 月
- 講師, 「日本語教育の展望 2006」, WJCI 月例日本語教育交流セミナー3月セッション (主催: NPO 国際日本語コミュニケーション研究所), 2006 年 3 月
- コメンテータ, NHK 特報首都圏「“外国人ママ”をどう支えるか」, 2006 年 3 月

## 島村直己 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育教材の素材提供)
- 科学研究費補助金 基盤研究(A) 児童・生徒の言語能力と言語生活(代表者)

### 2 成果公表活動

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「第9章 国語教育と漢字」, 前田富祺, 野村雅昭編『朝倉漢字講座』, Vol.4, pp.227-247, 朝倉書店, 2005年10月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「国語科の数値目標を掲載する際の配慮点と実例」, 『教職研修』, pp.50-53, 教育開発研究所, 2006年3月

#### F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「国語教育の中の漢字」, 国語教育史学会, 2006年3月



## 植木正裕 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育支援総合ネットワーク/日本語教育教材の素材提供/バーチャル日本語情報資料館システム)
- 大学院教育(政策研究大学院大学:日本語教育指導者養成プログラム)

### 2 成果公表活動

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「外国人への災害時情報伝達における「わかりやすさ」とその問題点」, 『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』, pp.20-23, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『基礎日本語活用辞典(インドネシア語版)』(国研ホームページ上で公開), 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 ホームページ部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 運用管理部会員

#### エ. 見学者への対応等 1件

## 4 所外活動

### イ. 学会活動

- 情報処理学会自然言語処理研究会運営委員会



## 早田美智子 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築(日本語教育年鑑)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育教材の素材提供)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2005 年版』, 2005 年 11 月
- 「日本語教育年鑑情報検索 (web ページデータベース)」, 2005 年 7 月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』(「主要参考文献」作成・編集), pp.1110-1120, 大修館書店, 2005 年 10 月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 17 年度国立国語研究所公開研究発表会「シソーラスの編纂と活用」, 企画・運営

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

## 4 所外活動

### イ. 学会活動

- 日本語教育学会日本語教材データベース準備委員会委員

# 情報資料部門

熊谷康雄（部門長）

## 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費（データベース） 『日本言語地図』データベース（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 日本語方言形成モデルの構築に関する研究（分担者）

## 2 成果公表活動

### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2005 年版』, 2005 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2004』, 2006 年 3 月公開

## 3 上記以外の所内業務

### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森(国立国語研究所資料集 13-1)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集 13-2)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集 13-3)』, 刊行物検討委員会委員長

### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会長
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 運用管理部会長
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員
- セクシャル・ハラスメント防止委員会委員長
- 外来語所内委員会委員
- 外来語所内委員会 相談窓口部会長

## 5 その他

- 執筆, 「方言世界の名前と分類」, 『文化庁月報』, p.29, 2006年1月



## 米田正人 (上席研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在 (意識調査)
- 言語使用・言語意識に関する行動計量学的研究
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 外国人被災者のための「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究 (分担者)
- 21世紀 COE プログラム 「人類の幸福に資する社会調査」の研究 (協力者)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第10回国立国語研究所国際シンポジウム第3部会報告書「環太平洋地域における日本語の地位」』, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 平成17年度農林水産省農作物新品種命名登録検討会委員

#### イ. 学会活動

- 日本行動計量学会運営委員・和文誌編集委員・欧文誌編集委員
- 日本統計学会75周年記念事業委員会委員

# 情報資料部門第一領域

## 伊藤雅光 (領域長)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑/新聞記事データベース/図書館目録データベース/図書館システム)
- 大学院教育 (政策研究大学院大学: 日本言語文化研究プログラム)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2005 年版』, 2005 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB 版)』, 2006 年 3 月公開
- 『日本語研究文献目録データベース 2004 年版』, 2005 年 11 月公開
- 『ことばに関する新聞記事見出しデータベース』, 2006 年 3 月追加公開

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「7 言語・言語教育研究の方法 —B 研究領域の概観—計量言語学」, 水谷修, 西原鈴子他 4 名編『新版 日本語教育事典』, pp.559-561, 大修館書店, 2005 年 10 月
- “1.GENERAL - 5.Quantitative Linguistics in Japan.”, Gabriel Altmann, Reinhard Koehler und Rajmund G. Piotrowski (Eds.) *Quantitative Linguistik / Ein internationales Handbuch*, pp.82-95, Walter de Gruyter GmbH & co.KG., Berlin, 2005 年 11 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「計量言語学とコーパス言語学」, 『計量国語学』, Vol.25 No.2, pp.89-97, 計量国語学会, 2005 年 9 月
- 「計量語彙論のための日英共通品詞分類」, 『計量国語学』, Vol.25 No.2, pp.65-88, 計量国語学会, 2005 年 9 月

#### E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「コンピュータを利用した日本語研究」, 韓国日語日文学会編『韓国日語日文学会 2005 年度春季国際学術大会予行集【シンポジウム】情報化時代における海外での日本研究』, pp.76-86, 韓国日語日文学会, 2005 年 5 月
- 「ジップの法則と資料批判 —ジップはなぜジョイスのユリシーズを使ったのか」, 計量国語学会編『計量国語学会第 49 回大会要旨集』, p.9, 計量国語学会, 2005 年 9 月
- 「計量国語学史ことはじめ —空海、正倉院文書、そして古辞書」, 語彙・辞書研究会編『語彙・辞書研究会第 28 回研究発表会予稿集』, pp.9-16, 語彙・辞書研究会, 2005 年 11 月

#### F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 「計量言語学とコーパス言語学」, 計量国語学会第 1 回定例会, 2005 年 7 月
- 「計量国語学史における新撰字鏡の数値データ付きシソーラスとしての価値」, 2005 年度漢字・漢語研究会, 2005 年 7 月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 29 回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か—伝え合いの意味—」, 企画・運営, 協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語年鑑 2005 年版』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB 版)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会長
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開・個人情報保護委員会委員

#### エ. 見学者への対応等 1 件

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 計量国語学会理事
- 『計量国語学』編集長
- 計量国語学会創立 50 周年事業『計量国語学事典』編集長
- 語彙・辞書研究会運営委員
- 査読 国内雑誌 4 件

### 5 その他

- 執筆, 文章を書く機械, 文化庁月報 No. 450, p. 29, ぎょうせい, 2006 年 3 月



## 井上文子 (主任研究員)

### 1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (方言文法全国地図)
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (図書館目録データベース/図書館システム)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (研究資料のデジタル化)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 薩南諸島におけるネオ方言 (中間方言) の実態調査 (分担者)
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 (データベース) 全国方言談話データベース (分担者)

### 2 成果公表活動

#### A. 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「国立国語研究所の移転事業」, 『専門図書館』, 215, pp. 73-86, 専門図書館協議会, 2006 年 1 月

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして> 5 日本語の音声に耳を傾けると…』, 2006年3月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森(国立国語研究所資料集13-1)』, 2006年3月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集13-2)』, 2006年3月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集13-3)』, 2006年3月
- 『方言文法全国地図 第6集(国立国語研究所報告97-6)』, 2006年3月
- 三井はるみ, 井上文子: 「「全国方言談話データベース」にみる方言のオノマトペ」, 大西拓一郎編『方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(平成14年度～平成17年度科学研究費補助金 基盤研究B 課題番号14310196 研究成果報告書)』, pp.21-42, 2006年3月
- 「待遇表現」, 大西拓一郎編『方言文法調査ガイドブック2(平成14年度～平成17年度科学研究費補助金 基盤研究B 課題番号14310196 研究成果報告書)』, pp.95-114, 2006年3月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 井上文子, 太田有多子: 「生活とことば」, 真田信治編『社会言語学の展望』, pp.73-86, くろしお出版, 2006年3月
- 井上文子, 三井はるみ: 「方言談話の中の地域差・世代差・場面差—方言談話の収録と活用のために—」, 真田信治監修, 中井精一, ダニエル・ロング, 松田謙次郎編『日本海総合研究プロジェクト4 日本のフィールド言語学—新たな学の創造に向けた富山からの提言—』, pp.158-173, 桂書房, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻 北海道・青森(国立国語研究所資料集13-1)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第2巻 岩手・秋田(国立国語研究所資料集13-2)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第3巻 宮城・山形・福島(国立国語研究所資料集13-3)』, 刊行物検討委員会委員
- 『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

#### エ. 見学者への対応等 3件

### 4 所外活動

#### ウ. 教育活動

- 短期大学非常勤講師
- 日本語教師養成講座非常勤講師

## 池田理恵子（主任研究員）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（新聞記事データベース）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究（分担者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「第1部動向 新聞記事に見る分野・話題の推移」、『国語年鑑 2005年版』, pp.29-37, 2005年12月
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB版)』, 2006年3月公開
- 『ことばに関する新聞記事見出しデータベース』, 2006年3月追加公開

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新聞記事に見る敬語の話題—学校と職場における呼称—」、『日本語学(9月臨時増刊号「敬語 理論と実践」)』, Vol.24 No.11, pp.160-168, 明治書院, 2005年9月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の表記—1994年発行70誌—(国立国語研究所報告125)』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の新たな文脈—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB版)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 知的財産権部会員
- 普及広報委員会 ホームページ部会員



## 新野直哉（主任研究員）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（国語年鑑）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「刊行図書動向」、『国語年鑑 2005年版』, pp.9-15, 2005年11月
- 『日本語研究文献目録データベース 2004年版』, 2005年11月公開
- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 2件

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「テーマで探ることばの由来—スポーツ」, 前田富祺編『日本語源大辞典』, p.1135, 小学館, 2005年4月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』18, 企画・編集
- 『国語年鑑 2005年版』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB版)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 日本語学会庶務委員
- 査読 国内雑誌 1件

#### ウ. 教育活動

- 目白大学大学院国際交流研究科非常勤講師

### 5 その他

- 執筆, 「“野球”の名付け親は誰?」, 『月刊言語』Vol.34 No.12, pp.2-3, 大修館書店, 2005年12月
- 執筆, 「言葉をみつめる 11 名称の変化あれこれ」, 『文化庁月報』No.449, p.29, ぎょうせい, 2006年2月



## 齋藤達哉 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑/日本語教育年鑑)

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「雑誌文献の動向」, 『国語年鑑 2005年版』, pp.16-21, 2005年12月
- 『日本語ブックレット 2004 (WEB版)』, 2006年3月公開

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 文化庁編『国語施策百年史』, ぎょうせい, 2006年1月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「大学生の敬語意識をめぐって」, 『跡見学園女子大学人文学フォーラム』, 第4号, pp.117-129, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2005 年版』, 協力
- 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告 123)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 図書選定部会員

エ. 見学者への対応等 4 件

#### 4 所外活動

ウ. 教育活動

- 跡見学園女子大学人文学部 非常勤講師
- 麗澤大学外国語学部 非常勤講師 (集中講義)

#### 5 その他

- 併任, 文化庁文化部国語課



### 中山典子 (研究員)

#### 1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (図書館目録データベース/図書館システム)

#### 3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 図書選定部会員

エ. 見学者への対応等 5 件

# 情報資料部門第二領域

## 横山詔一（領域長）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 言葉に関する電話質問等への対応
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（インターネットによる海外提供システム）
- 大学院教育（政策研究大学院大学：日本語教育指導者養成プログラム／政策研究大学院大学：日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 電子政府6万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向け Web 漢字辞書の作成（代表者）

### 2 成果公表活動

#### C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文

- 「字体選好は新聞漢字頻度から予測可能か」, 『計量国語学』, Vol. 25 No. 4, pp. 181-194, 計量国語学会, 2006年3月
- 「潜在記憶と言語習得」, 『言語』, Vol. 35 No. 4, pp. 52-57, 大修館書店, 2006年3月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「漢字環境学と情報通信政策（韓国語訳付き）」, 韓国語文教育研究会・(社)韓国語文会編『漢字教育と漢字政策に関する国際学術会議』, pp. 371-400, 韓国語文教育研究会・(社)韓国語文会, 2005年6月
- Wada, Yukiko., Yokoyama, Shoichi., & Long, Eric: "Language policy and planning for Japanese orthography and the e-Gov project", J. Kess & H. Lansdowne (Eds.) *Why Japan matters*, pp. 467-479, Centre for Asia-Pacific Initiatives, British Columbia, Canada: University of Victoria, 2005年8月

#### E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 高田智和, 横山詔一, 米田純子: 「文字情報データベースの開発とインターネット・リサーチによる音義未詳字の検索」, 『人文科学とコンピュータ シンポジウム論文集「デジタルアーカイブ—その理念の深化と技術の応用—」』, pp. 247-254, 情報処理学会, 2005年12月

#### F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- Wada, Yukiko., Long, Eric., & Yokoyama, Shoichi.: "Standardization of kanji in Japan and the e-Gov kanji database: Language policy, kanji, technology, and the National Institute for Japanese Language.", カナダ日本語教育振興会(CAJLE) 2005年度大会 カナダ・ブリティッシュコロンビア州ビクトリアにて, 2005年8月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして、国語研究所です。—調査・研究の“今”—」, 企画・運営

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会長
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会員
- 施設整備委員会委員
- 外来語所内委員会 相談窓口部会員
- 次期中期計画小委員会委員

#### 4 所外活動

##### ア. 所外委員会

- 経済産業省汎用電子交換環境整備プログラム文字対応作業委員会委員
- 経済産業省汎用電子交換環境整備プログラム文字グリフ作業委員会委員
- 経済産業省汎用電子交換環境整備プログラム文字データベース委員会委員

##### イ. 学会活動

- 計量国語学会理事
- 日本心理学会認定心理士カリキュラム検討小委員会委員

##### ウ. 教育活動

- 青山学院大学文学部非常勤講師
- 朝日カルチャーセンター講師

#### 5 その他

- コメント掲載, 「ことばフォーラム」, 朝日新聞, 2006年4月
- インタビュー記事掲載, 「常用漢字表特集記事」, 朝日新聞, 2006年6月



### 山田貞雄 (主任研究員)

#### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応

#### 2 成果公表活動

##### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 問答2件, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 2件

##### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「敬語についての質問から」, 『日本語学』9月号臨時増刊号, 明治書院, 2006年9月

- 山田貞雄, 和田潔:「山田俊雄 著作年譜・附略歴」,『成城国文学』No. 22, pp. 119-153, 成城国文学会, 2006年3月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして, 国語研究所です。ー調査・研究の“今”ー」, 企画・運営
- 第26回「ことば」フォーラム「ことばと国際理解ー国際理解につながることばの教育ー」, 企画・運営, 協力
- 第27回「ことば」フォーラム「伝え合いの言葉ーコミュニケーションの意味ー」, 企画・運営
- 第28回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 企画・運営, 協力
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何かー伝え合いの意味ー」, 企画・運営

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 外来語所内委員会 相談窓口部会員

#### エ. 見学者への対応等 2件

### 4 所外活動

#### ア. 所外委員会

- 日本広報協会 平成17年全国広報コンクール審査委員 (広報紙 都道府県部)
- 全国町村議会議長会 第20回町村議会広報コンクール 審査委員

#### ウ. 教育活動

- 国民健康保険中央会広報紙担当者研修講師 (6.29.2005)
- 埼玉県立久喜図書館朗読奉仕者研修講師 (6.23, 6.30, 7.4, 7.13.2005)

### 5 その他

- 出演, 「かぎとみ徹の熱烈ラジオ, もちはもち屋に伺いましょう」新潟放送ラジオ, 2005年4月
- 出演, 「スター高橋ドッキリマル秘報告, 知りたい!見たい!」福岡放送ラジオ, 2005年4月
- 講評, 「読みよさ・読みやすさへの配慮」『広報』日本広報協会, 2005年6月
- 出演, 「かぎとみ徹の熱烈ラジオ, もちはもち屋に伺いましょう」新潟放送ラジオ, 2005年8月
- 出演, 「TOKYO発 きょうの日本」NHK ワールドラジオ日本, 2005年10月
- インタビュー記事掲載, 「日本語特集」『りている』富士電機イテイルシステムズ, 2005年11月
- 出演, 「かぎとみ徹の熱烈ラジオ, もちはもち屋に伺いましょう」新潟放送ラジオ, 2005年12月
- インタビュー記事掲載, 「ことば力養成講座 菜味の『菜』って?」朝日新聞, 2005年12月
- 講評, 「すべきこと」と「できること」『地方議会人』全国町村議会議長会, 2006年3月

## 森本祥子（研究員）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／バーチャル日本語情報資料館システム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 歴史情報資源活用システムと国際的アーカイブズネットワークの基盤構築に向けての研究（分担者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 問答 1 件, 2006 年 3 月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「EAD を用いた資料記述システムの開発: 国立国語研究所の事例」, 『アーカイブズ学研究』No. 4, pp. 92-102, 日本アーカイブズ学会, 2006 年 3 月

#### D 論文集等に掲載された論文

- 「大学組織のアーカイブズ: 理論と実践の提示への期待」, 全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイブズ』, pp. 101-113, 京都大学学術出版会, 2005 年 12 月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』, 刊行物検討委員会委員

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員
- 衛生委員会委員

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 日本アーカイブズ学会委員（編集担当）
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（大会企画委員）

### 5 その他

- 講演, 「アーカイブズにできること」, 別府大学史学研究会大会「アーカイブズ・フォーラム大分 2005」, 別府大学, 2005 年 6 月

## 朝日祥之（研究員）

### 1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の現在（意識調査／国語力調査等）
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／バーチャル日本語情報資料館システム）
- 大学院教育（政策研究大学院大学：日本語教育指導者養成プログラム）
- 科学研究費補助金 若手研究(B) サハリンに残存する日本語の地位に関する調査研究（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 医療における専門家と非専門家のコミュニケーションの適切化のための社会言語学的研究（分担者）

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『話し言葉における敬語形式の出現実態』, 2005年11月
- 『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』, 問答1件, 2006年3月
- 朝日祥之, 尾崎喜光:「第5章 文法の使い分け」,『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, pp.133-167, 2006年3月
- 朝日祥之, 尾崎喜光:「第6章 敬語の使い分け」,『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』, pp.169-200, 2006年3月

#### B 所員が執筆・編集した単行本

- 「サハリンの日本語」, 真田信治, 庄司博史編『辞典日本の多言語社会』, pp.332-334, 岩波書店, 2005年10月
- *Language contact and mixture: the remnants of Sakhalin Japanese (21st century COE programme research activities report)*, pp.1-160, 三元社, 2006年3月

#### C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 朝日祥之, 吉岡泰夫, 相澤正夫:「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」,『日本語科学』17, pp.105-125, 2005年4月
- 「外国語で生活する人のために」(書評 河原俊昭「自治体の言語サービス」春風社),『英語青年』, Vol.54 No.1, p.96, 研究社, 2005年4月
- 「海と方言—島の間の方言の伝播」,『日本語学』, Vol.24 No.9, pp.50-61, 明治書院, 2005年8月
- 「行政コミュニケーションにおける日本語の姿—広報紙を例に一」,『日本語学』, Vol.24 No.13, pp.6-18, 明治書院, 2005年11月

#### D 論文集等に掲載された論文

- “The status of Japanese language in Sakhalin Island in Russia (Special Edition, International Culture Exchange)”, *Journal of Social Science of Jiamusi University*, pp.137-144, Jiamusi University, 2005年7月
- “Research activities on spoken Japanese at the National Institute for Japanese Language”, J. Kess & H. Lansdowne (Eds.) *Why Japan matters*, pp.455-466, Centre for Asia-Pacific Initiatives, British Columbia, Canada: University of Victoria, 2005年8月
- 「サハリン島ポロナISKにおける言語接触—日本語の地位を中心として—」,『日本言語文化研究会論集』, Vol.1, pp.25-40, 日本言語文化研究会, 2005年9月
- 「社会言語学における方言接触研究のこれから—地域社会の特性との関係を中心として—」, 中井精一, 内山純蔵, 高橋浩二編『日本海総合研究プロジェクトの研究報告4:日本のフィールド言語学—新たな学の創造にむけた富山からの提言—』, pp.255-271, 桂書房, 2006年3月

- 朝日祥之, 余健:「方言接触」, 真田信治編『社会言語学の展望』, pp.103-116, くろしお出版, 2006年3月

#### E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 朝日祥之, 太田一郎, 二階堂整, 松田謙次郎, 高野照司, 片岡邦好:「地域言語研究の新たな展開—地域社会の特性と言語変異の関連に着目して—」, 『日本方言研究会第80回研究発表会発表原稿集』, pp.97-102, 日本方言研究会, 2005年5月
- 「シンポジウム「外来語問題と言語政策」発表1「戦後の国語施策は外来語問題にどう対応してきたか」」, 日本言語政策学会編『日本言語政策学会第6回大会<資料>』, pp.22-23, 日本言語政策学会, 2005年6月
- “A Japanese contact variety in the north: Evidence from the Sakhalin Island in Russia”, *Twelfth International Conference on Methods in Dialectology*, p.48, University of Moncton, 2005年8月
- “Contact-induced language change in a high dialect contact situation: the case of Japanese new town”, *UK Language Variation and Change 5*, p.37, University of Aberdeen, 2005年9月
- 吉岡泰夫, 朝日祥之, 相澤正夫:「医師に期待する医療用語の使い方の工夫—「外来語に関する意識調査」にみる国民の意識—」, 『日本語学会2005年度秋季大会予稿集』, pp.181-188, 日本語学会, 2005年11月

### 3 上記以外の所内業務

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『現代雑誌の漢字調査(頻度表)』, 協力
- 『「現代雑誌の語彙調査」に基づく漢字音訓一覧表』, 協力
- 『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データベースの多様な利用のために』, 刊行物検討委員会委員
- 『国立国語研究所研究活動一覧(平成16年度)』, 企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

### 4 所外活動

#### イ. 学会活動

- 社会言語科学会 研究大会委員会 委員(8月まで)
- 社会言語科学会 研究大会委員会 副委員長(9月から)
- 変異理論研究会 世話人

#### ウ. 教育活動

- 恵泉女学園大学人文学部 非常勤講師(集中講義)
- 清泉女子大学文学部 非常勤講師

### 5 その他

- 講演, 「サハリンに残された日本語の姿」, 北星学園大学, 2005年6月

## 小高京子 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (電子化報告書・資料集等/研究資料のデジタル化/バーチャル日本語情報資料館システム)

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして、国語研究所です。ー調査・研究の“今”ー」, 協力



## 塚田実知代 (研究員)

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 言葉に関する電話質問等への対応

### 2 成果公表活動

#### A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 尾崎喜光, 杉戸清樹, 熊谷智子, 塚田実知代: 「第2章 調査の概要」, 『言語行動における「配慮」の諸相 (国立国語研究所報告123)』, pp.11-18, 2006年3月
- 『国語研の窓』, 1件

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして、国語研究所です。ー調査・研究の“今”ー」, 企画・運営
- 第26回「ことば」フォーラム「ことばと国際理解ー国際理解につながることばの教育ー」, 企画・運営
- 第27回「ことば」フォーラム「伝え合いの言葉ーコミュニケーションの意味ー」, 企画・運営
- 第28回「ことば」フォーラム「外来語の過去・現在・未来」, 企画・運営
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何かー伝え合いの意味ー」, 企画・運営

#### ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員

#### エ. 見学者への対応等 2件

## 磯部よし子（研究員）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（電子化報告書・資料集等／研究資料のデジタル化／バーチャル日本語情報資料館システム）

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして、国語研究所です。一調査・研究の“今”一」、協力
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か―伝え合いの意味―」、協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国立国語研究所研究活動一覧（平成16年度）』、企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班員



## 米田純子（研究員）

### 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（インターネットによる海外提供システム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 電子政府 6万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向け Web 漢字辞書の作成（分担者）

### 2 成果公表活動

#### E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 高田智和，横山詔一，米田純子：「文字情報データベースの開発とインターネット・リサーチによる音義未詳字の検索」、『人文科学とコンピュータ シンポジウム論文集「デジタルアーカイブ―その理念の深化と技術の応用―」』、pp.247-254, 情報処理学会, 2005年12月

### 3 上記以外の所内業務

#### ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第25回「ことば」フォーラム「はじめまして、国語研究所です。一調査・研究の“今”一」、協力
- 第29回「ことば」フォーラム「コミュニケーションとは何か―伝え合いの意味―」、協力

#### イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語研の窓』、企画・編集

#### ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員
- ネットワーク管理業務



平成17年度

研究会議・研究発表一覧

所内委員会委員・部会員一覧

刊行物検討委員会一覧

所内見学者一覧

招へい研究員一覧

非常勤研究員等一覧

滞在研究員受入一覧

外国出張一覧



## 平成 17 年度研究会議・研究発表一覧

氏名 / 発表題目

---

前川喜久雄 / 『日本語話し言葉コーパス』を用いた語形変異の研究 (第 1 報)

横山詔一 / 科学技術振興調整費「公的標準化を狙う漢字知識の先端知能体開発」について

高田智和 / 大字典と文字コードについて

森本祥子 / 中央資料庫における資料の保存と利用について

「ことばビデオ」作成部会 / 暮らしの中の「あいまいな表現」

横山詔一, 米田純子 / Web を利用した漢字意識の調査

島村直己 / 作文の語彙

「ことば」フォーラム部会 / 「ことば」フォーラムの報告

山田貞雄, 塚田実知代 / 電話質問応答の報告

井上優, 山崎誠 / 北京日本学研究中心への出張の報告

田中牧郎, 山口昌也 / 『太陽コーパス』『ひまわり』等の活用と今後の展開

横山詔一 / 言語接触効果のロジット方程式

前川喜久雄, 山崎誠, 丸山岳彦 / 「ことのは」プロジェクトについて

大西拓一郎, 三井はるみ, 吉田雅子 / 『方言文法全国地図』第 6 集の刊行について

大西拓一郎 / GIS(地理情報システム)で見る方言の分布

植木正裕 / インドネシア語辞典の公開について

柳澤好昭, 小根山美鈴 / 日本語教育関係資料としての大志万資料—資料寄贈への対応と  
ともに—

## 平成17年度所内委員会・部会員一覧

(◎印：委員長 ○印：部会長・班長 ※印：管理部職員)

### 研究計画委員会

◎杉戸清樹，齊藤秀昭，上野喜代人※，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，吉岡泰夫，  
米田正人，山崎誠，前川喜久雄，井上優，野山広，伊藤雅光，横山詔一

#### 研究計画委員会 研究企画調整部会

○相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，上野喜代人※

#### 研究計画委員会 研究企画調整部会「研究活動一覧」作成作業班

○相澤正夫，山口昌也，朝日祥之，磯部よし子，関達夫※

#### 研究計画委員会 知的財産権部会

○山崎誠，柳澤好昭，田中牧郎，池田理恵子，菅井英明，林哲也※，松下愛※

#### 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会

○井上優，山崎誠，三井はるみ，柏野和佳子，宇佐美洋，新野直哉

### 国際交流委員会

◎杉戸清樹，齊藤秀昭，上野喜代人※，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，吉岡泰夫，  
米田正人，山崎誠，前川喜久雄，井上優，野山広，伊藤雅光，横山詔一

#### 国際交流委員会 研究交流企画部会

○前川喜久雄，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，上野喜代人※

### 普及広報委員会

◎杉戸清樹，齊藤秀昭，上野喜代人※，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，吉岡泰夫，  
米田正人，山崎誠，前川喜久雄，井上優，野山広，伊藤雅光，横山詔一，大西拓一郎，  
田中牧郎，尾崎喜光，熊谷智子

#### 普及広報委員会 企画調整部会

○横山詔一，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，上野喜代人※

#### 普及広報委員会 国語研の窓部会

○大西拓一郎，小椋秀樹，森本祥子，米田純子，田島正幸※，鈴木美保子※

#### 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会

○田中牧郎，柏野和佳子，山口昌也，小沼悦，山田貞雄，塩田俊仁※，鈴木美保子※

#### 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会

○尾崎喜光，小磯花絵，小河原義朗，井上文子，佐々木和彦※（10月31日まで），  
富澤 広※（11月1日から），林哲也※

#### 普及広報委員会 公開研究発表会部会

○熊谷智子，宇佐美洋，早田美智子，関達夫※

**普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会**

○伊藤雅光, 横山詔一, 野山広, 山田貞雄, 丸山岳彦, 塚田実知代, 田島正幸\*, 鈴木美保子\*

**普及広報委員会 ホームページ部会**

○山崎誠, 三井はるみ, 植木正裕, 池田理恵子, 関達夫\*

**図書館運営委員会**

◎杉戸清樹, 齊藤秀昭, 上野喜代人\*, 相澤正夫, 柳澤好昭, 熊谷康雄, 吉岡泰夫, 米田正人, 山崎誠, 前川喜久雄, 井上優, 野山広, 伊藤雅光, 横山詔一, 井上文子

**図書館運営委員会 企画部会**

○熊谷康雄, 相澤正夫, 柳澤好昭, 伊藤雅光, 井上文子, 上野喜代人\*

**図書館運営委員会 図書選定部会**

○伊藤雅光, 井上文子, 丸山岳彦, 早田美智子, 斎藤達哉, 中山典子, 朝日祥之, 福永由佳, 五十嵐敏男\*

**ネットワーク運営委員会**

◎杉戸清樹, 齊藤秀昭, 上野喜代人\*, 相澤正夫, 柳澤好昭, 熊谷康雄, 吉岡泰夫, 米田正人, 山崎誠, 前川喜久雄, 井上優, 野山広, 伊藤雅光, 横山詔一, 山口昌也, 植木正裕

**ネットワーク運営委員会 運用管理部会**

○熊谷康雄, 山口昌也, 植木正裕, 榎本誠, 林哲也\*

**大学院運営委員会**

◎杉戸清樹, 齊藤秀昭, 上野喜代人\*, 相澤正夫, 柳澤好昭, 熊谷康雄, 山崎誠, 前川喜久雄, 井上優, 野山広, 伊藤雅光, 横山詔一, 熊谷智子, 金田智子, 小河原義朗, 塩田俊仁\*

**大学院運営委員会 企画調整部会**

○柳澤好昭, 熊谷智子, 井上優, 野山広, 横山詔一, 上野喜代人\*, 塩田俊仁\*

**大学院運営委員会 政研大修士課程部会**

○柳澤好昭, 熊谷智子, 小河原義朗, 塩田俊仁\*

**大学院運営委員会 政研大博士課程部会**

○野山広, 横山詔一, 金田智子, 塩田俊仁\*

**大学院運営委員会 一橋大部会**

○井上優, 山崎誠, 前川喜久雄, 上野喜代人\*, 塩田俊仁\*

#### 施設整備委員会

◎齊藤秀昭，上野喜代人<sup>\*</sup>，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，山崎誠，前川喜久雄，井上優，野山広，伊藤雅光，横山詔一

#### 情報公開・個人情報保護委員会

◎齊藤秀昭，上野喜代人<sup>\*</sup>，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，山崎誠，井上優，伊藤雅光

#### セクシャル・ハラスメント防止委員会

◎熊谷康雄，上野喜代人<sup>\*</sup>，三井はるみ，金田智子，田島正幸<sup>\*</sup>，榑藤智香子<sup>\*</sup>

#### 外来語所内委員会

◎杉戸清樹，齊藤秀昭，上野喜代人<sup>\*</sup>，相澤正夫，柳澤好昭，熊谷康雄，山崎誠，田中牧郎

#### 外来語所内委員会 相談窓口部会

○熊谷康雄，横山詔一，山田貞雄，田島正幸<sup>\*</sup>

#### 次期中期計画小委員会

◎相澤正夫，前川喜久雄，井上優，横山詔一，上野喜代人<sup>\*</sup>

#### 衛生委員会

◎上野喜代人<sup>\*</sup>，山崎誠，森本祥子，田島正幸<sup>\*</sup>，佐々木和彦<sup>\*</sup>（10月31日まで），冨澤広<sup>\*</sup>（11月1日から），榑藤智香子<sup>\*</sup>，國谷勝伸<sup>\*</sup>，笠井淳子，他産業医1名

平成 17 年度刊行物検討委員会一覧 (○印：委員長)

『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』第 1 巻～第 3 巻  
(国立国語研究所資料集 13-1～13-3)

○熊谷康雄, 熊谷智子, 三井はるみ, 井上文子, 井上優

『言語行動における「配慮」の諸相』

(国立国語研究所報告 123)

○相澤正夫, 熊谷智子, 井上優, 斎藤達哉

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計  
結果報告書』

○柳澤好昭, 井上優, 森本祥子, 山口昌也, 小河原義朗

『世界の言語テスト』

○柳澤好昭, 杉本明子, 菅井英明, 井上優, 尾崎喜光, 横山詔一

『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』

○相澤正夫, 尾崎喜光, 小河原義朗, 井上文子

『日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究報告書 作文対訳データ  
ベースの多様な利用のために』

○柳澤好昭, 井上優, 宇佐美洋, 丸山岳彦, 朝日祥之

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』

○柳澤好昭, 井上優, 森本祥子, 山口昌也, 小河原義朗

『現代雑誌の表記—1994 年発行 70 誌—』

(国立国語研究所報告 125)

○相澤正夫, 山崎誠, 杉本明子, 池田理恵子

## 平成 17 年度所内見学者一覧

※以下に挙げたものは、公的な依頼を受けたものである。

そのほかにも、国の内外から随時来訪者があり、関係する研究職員が対応した。

見学日	見学者
-----	-----

---

### 平成 17 年

4月15日	日本経済新聞東京本社編集局 (6名)
4月19日	一橋大学大学院言語社会研究科 (10名)
5月2日	日本大学 (14名)
5月12日	日本音声学会 (2名)
6月14日	愛知県立西尾市立西尾中学校 (2名)
8月26日	立川市小中学校国語科教員 (30名)
9月29日	秋田大学教育文化学部 (8名)
10月12日	立川市及び大町市市議会議員 (47名)
10月26日	社団法人 日本建築家協会 (40名)
11月11日	国土交通省国土交通大学校 (45名)
12月1日	財団法人 日本ユースホステル協会 (12名)
12月6日	財団法人 全国建設研修センター (30名)

### 平成 18 年

1月16日	社団法人 日本セカンドライフ協会 (19名)
1月31日	府中第一中学校 (2名)
1月31日	国土交通大臣官房官庁営繕部 (5名)
2月1日	群馬県立前橋高等学校 (18名)
3月3日	立川市公民館 (22名)

その他個人 (建物見学等) 146名

## 平成17年度招へい研究員一覧

氏名 / 国籍	所属 / 期間
冷麗敏 (中華人民共和国)	北京師範大学外文学院日本語学部助教授 平成15年10月1日～平成18年9月30日
ユパカー・スイリポンパイブーン (タイ王国)	泰日経済技術振興協会付属語学学校専任講師 平成16年10月1日～平成19年9月30日
張春柏 (中華人民共和国)	華東師範大学外語学院長 平成18年2月26日～平成18年3月4日
徐敏民 (中華人民共和国)	華東師範大学外語学院日語系主任 平成18年2月26日～平成18年3月4日
チョン・ホソン (大韓民国)	韓国国立国語院言語生活部学芸研究官 平成18年3月5日～平成18年3月11日
パク・ミンギョ (大韓民国)	韓国国立国語院言語生活部学芸研究官 平成18年3月5日～平成18年3月11日

## 平成 17 年度非常勤研究員等一覧

### 研究開発部門

#### 第一領域

非常勤研究員	小木曾智信	研究補佐員	秋元祐哉
〃	近藤明日子	〃	井手順子
〃	笹原宏之	〃	稲益佐知子
〃	田中ゆかり	〃	桐生りか
〃	半沢康	〃	虎岩千賀子
〃	間淵洋子	〃	吉田谷幸宏
〃	宮田公治	〃	和田志子
〃	エリク・ロング (併)		

#### 第二領域

非常勤研究員	五十嵐陽介	研究補佐員	相馬さつき
〃	西川賢哉	〃	吉田雅子
〃	藤本雅子		
〃	大和淳		

### 日本語教育部門

#### 第一領域

非常勤研究員	岡部真理子	事務補佐員	笠井淳子
〃	下平菜穂	〃	佐藤真理緒
〃	富谷玲子	〃	二瓶知子
研究補佐員	成田高宏		
〃	鏈水兼貴		

#### 第二領域

非常勤研究員	加藤久枝	事務補佐員	小根山美鈴
〃	金子史朗	〃	篠崎佳子
〃	川野陽子	〃	高橋悦子
〃	黒崎誠	〃	濱川祐紀代
〃	水野千佳子		

情報資料部門

第一領域

非常勤研究員 福島佐知

研究補佐員 五味由香

〃 杉本裕子

〃 竹部歩美

事務補佐員 加藤論子

〃 加納恵子

第二領域

非常勤研究員 エリック・ロング

事務補佐員 宮崎ユカ

## 平成 17 年度滞在研究員受入一覧

(新規受入者及び平成 17 年度在籍滞在研究員等を含む)

氏名 / 国籍	所属 / 期間	指導担当
馮 峰 (中華人民共和国)	清華大学外国語学部日本語学科教授 平成 16 年 7 月 20 日～平成 17 年 7 月 19 日	井上 優
袁 麗梅 (中華人民共和国)	長春工程学院外国語学部日本語研究室助教授 平成 16 年 9 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日	井上 優
ザトラスキー, ポリー・エレン (アメリカ合衆国)	ミネソタ大学言語学科教授 平成 17 年 5 月 20 日～平成 18 年 9 月 2 日	熊谷 智子
キャロライン・メセス (インド)	日本学術振興会外国人特別研究員 平成 17 年 5 月 30 日～平成 19 年 5 月 29 日	前川喜久雄
日高 水穂 (日本)	秋田大学教育文化学部助教授 平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日	大西拓一郎
林 さとこ (日本)	津田塾大学学芸学部英文学科助教授 平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日	金田 智子
聶 星超 (特別研究生) (中華人民共和国)	北京日本学研究中心修士課程大学院生 平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 24 日	尾崎 喜光

## 平成 17 年度外国出張一覧

※以下に挙げたものは、公費による出張のみである。

氏名	用務 / 用務先 / 機関
山崎 誠	北京日本学研究中心設立 20 周年記念シンポジウムにおける発表 中華人民共和国 平成 17 年 10 月 11 日～平成 17 年 10 月 16 日
前川 喜久雄	Corpus Linguistics2005 での研究発表・情報収集, Pearson Education 社にて書き言葉コーパスについて説明 英国 平成 17 年 7 月 12 日～平成 17 年 7 月 22 日
井上 優	北京日本学研究中心設立 20 周年記念シンポジウムにおける発表 中華人民共和国 平成 17 年 10 月 11 日～平成 17 年 10 月 16 日
野山 広	日本語教育のための指導者とリーダーシップに関する調査 ブラジリア大学にて日本語研究に関する国際シンポジウム, 国際交流基金 関係者との調査に関する面談 ブラジル連邦共和国 平成 17 年 9 月 5 日～平成 17 年 9 月 12 日  豪州で実施されている第二言語としての自国語の教育の実施及び外国語 としての日本語教育の実施視察, 国際交流基金での情報収集 オーストラリア 平成 18 年 3 月 9 日～平成 18 年 3 月 16 日
山口 昌也	Bologna 大学における Web as corpus プロジェクトについての情報収集 及び共同研究 イタリア共和国 平成 18 年 1 月 8 日～平成 18 年 2 月 8 日

- 高田 智和 電子政府6万字種データベースに準拠した海外日本語研究者向け Web 漢字辞書作成に関する情報収集  
台湾  
平成 17 年 5 月 19 日～平成 17 年 5 月 23 日
- インターネットによる日本語・日本語事情関連情報の海外提供システムの開発に関する研究発表及び情報収集  
大韓民国  
平成 17 年 8 月 31 日～平成 17 年 9 月 4 日
- 大西 拓一郎 第 12 回国際方言学方法論学会に参加・発表  
カナダ  
平成 17 年 7 月 30 日～平成 17 年 8 月 8 日
- 宇佐美 洋 中国語母語話者による日本語発話・中国語発話の収録  
中華人民共和国  
平成 18 年 3 月 12 日～平成 18 年 3 月 18 日
- 金田 智子 学習手段台湾調査に関わる会議及びインタビュー  
台湾  
平成 17 年 9 月 10 日～平成 17 年 9 月 14 日
- 調査協力者との打ち合わせ・台湾日語文学会での講演  
台湾  
平成 17 年 12 月 15 日～平成 17 年 12 月 18 日
- 小河原 義朗 日本語教育における学習環境と学習手段に関する調査研究  
マレーシア調査協力者会議, 平成 17 年度海外委員打ち合わせ  
マレーシア・オーストラリア  
平成 17 年 7 月 1 日～平成 17 年 7 月 7 日
- 日本語教育における学習環境と学習手段に関する調査研究  
マレーシア現地インタビュー調査, 現地セミナー開催打ち合わせ  
マレーシア  
平成 17 年 12 月 5 日～平成 17 年 12 月 9 日

国立国語研究所と国際交流基金クアラルンプールセンター共催による  
現地日本語教育セミナーの開催

マレーシア

平成 18 年 3 月 2 日～平成 18 年 3 月 7 日

e-Learning の評価

台湾

平成 18 年 3 月 12 日～平成 18 年 3 月 15 日

植木 正裕 第 10 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウムで日本語教育コンテンツに関  
する素材の提供

ベルギー王国

平成 17 年 9 月 8 日～平成 17 年 9 月 12 日

朝日 祥之 医療コミュニケーション研究に関する情報収集, 第 5 回英国言語変異と  
変化に関する学会における研究発表

英国

平成 17 年 9 月 7 日～平成 17 年 9 月 17 日

サハリンに残存する日本語の地位に関する調査研究のため  
面接調査を実施

サハリン

平成 17 年 11 月 4 日～平成 17 年 11 月 14 日

和田 志子 カナダ日本語教育振興会 2005 年度大会参加

カナダ

平成 17 年 8 月 18 日～平成 17 年 8 月 23 日

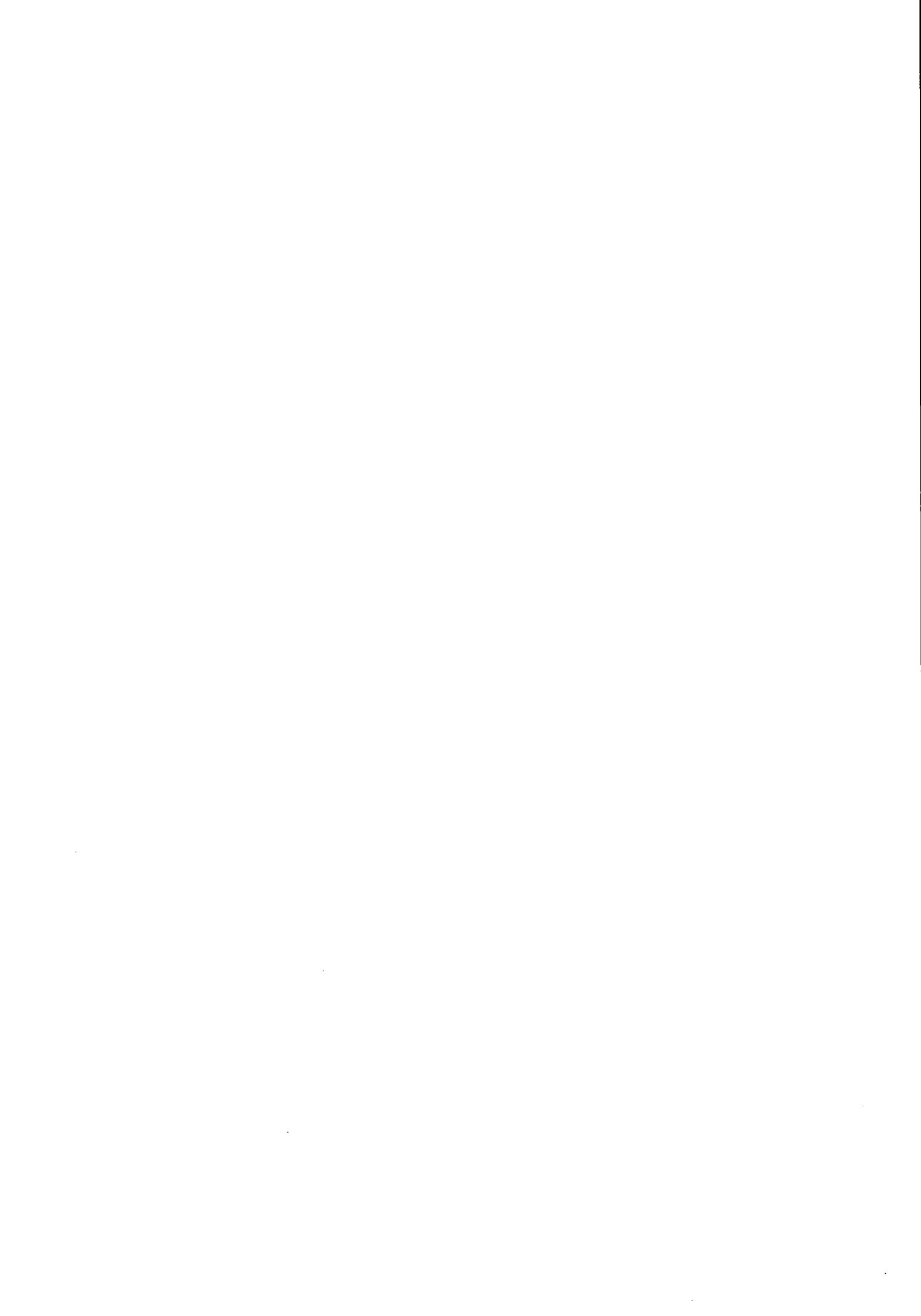
鎌水 兼貴 中国語母語話者による日本語発話・中国語発話の収録

中華人民共和国

平成 18 年 3 月 12 日～平成 18 年 3 月 18 日



平成17年度  
国立国語研究所刊行物一覧



## 平成 17 年度国立国語研究所の刊行物一覧

書名	市販品刊行元	刊行年月
<b>年鑑</b>		
『国語年鑑』2005年版	大日本図書	平成 17 年 11 月
『日本語教育年鑑』2005年版	くろしお出版	平成 17 年 11 月
<b>国立国語研究所報告</b>		
123『言語行動における「配慮」の諸相』	くろしお出版	平成 18 年 3 月
124『「日本語話し言葉コーパス」の構築法』		平成 18 年 3 月
125『現代雑誌の表記—1994年発行 70誌—』		平成 18 年 3 月
97-6『方言文法全国地図 第6集』	国立印刷局	平成 18 年 3 月
<b>国立国語研究所資料集</b>		
13-1『全国方言談話データベース第1巻 日本のふるさとことば集成 北海道・青森』	国書刊行会	平成 18 年 3 月
13-2『全国方言談話データベース第2巻 日本のふるさとことば集成 岩手・秋田』	国書刊行会	平成 18 年 3 月
13-3『全国方言談話データベース第3巻 日本のふるさとことば集成 宮城・山形・福島』	国書刊行会	平成 18 年 3 月
<b>日本語科学</b>		
『日本語科学』17	国書刊行会	平成 17 年 4 月
『日本語科学』18	国書刊行会	平成 17 年 10 月
<b>新「ことば」シリーズ</b>		
19『外来語と現代社会』	国立印刷局	平成 18 年 3 月
<b>「ことばビデオ」シリーズ</b>		
『豊かな言語生活をめざして5 「日本語の音声に耳を傾けると…」』	東京シネ・ビデオ	平成 18 年 3 月

#### 国立国語研究所日本語教育研修報告書等

- 『平成 17 年度国立国語研究所日本語教育シンポジウム  
(第 2 回日本語教育短期研修) 日本語教育の学習環境と学習手段に  
関する調査研究—海外調査の成果と展望—』(予稿集) 平成 18 年 2 月
- 『日本語教育ブックレット 2』(第 2 版) 平成 18 年 3 月
- 『日本語教育の新たな文脈  
—学習環境, 接触場面, コミュニケーションの多様性—』  
アルク 平成 18 年 3 月
- 『世界の言語テスト』 くらしお出版 平成 18 年 3 月

#### 日本語教育論集

- 『日本語教育論集』22 平成 18 年 3 月

#### 国際シンポジウム報告書

- 第 10 回国立国語研究所国際シンポジウム第 3 部会報告書  
『環太平洋地域における日本語の地位』 凡人社 平成 18 年 3 月
- 第 12 回国立国語研究所国際シンポジウム報告書  
『世界の日本語研究の新たな発展を求めて』 平成 18 年 3 月
- 第 13 回国立国語研究所国際シンポジウム予稿集・報告書  
『言語コーパスの構築と活用』 平成 18 年 3 月

#### その他内部資料等

- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究  
台湾アンケート調査集計結果報告書(中国語版)』 平成 17 年 8 月
- 『現代雑誌の漢字調査(頻度表)』 平成 17 年 10 月
- 『「現代雑誌の語彙調査」に基づく漢字音訓一覧表』 平成 17 年 11 月
- 『話し言葉における敬語形式の出現実態』 平成 17 年 11 月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究  
マレーシアアンケート調査集計結果報告書』 平成 17 年 12 月
- 『平成 17 年度 国立国語研究所公開研究発表会予稿集』 平成 17 年 12 月
- 『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究  
マレーシアアンケート調査集計結果報告書(マレー語版)』 平成 18 年 3 月
- 『第 4 回「外来語」言い換え提案  
—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』 平成 18 年 3 月

『「外来語」言い換え提案 第1回～第4回 総集編

—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』平成18年3月

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』

平成18年3月

『作文対訳データベースの多様な利用のために

「日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究」報告書』

平成18年3月

『方言使用の場面的多様性—鶴岡市における場面差調査から—』

平成18年3月



『国立国語研究所研究活動一覽』  
作成作業班

相澤 正夫

朝日 祥之

小沼 悦

高田 智和

山口 昌也

関 達夫

国立国語研究所研究活動一覽（平成17年度）

Annual Report of Research Activities  
The National Institute for Japanese Language  
April 2005 - March 2006



平成18年5月31日 発行

編集：独立行政法人 国立国語研究所  
自己点検評価委員会  
『国立国語研究所研究活動一覽』  
作成作業班

発行：独立行政法人 国立国語研究所  
〒190-8561 東京都立川市緑町3591-2  
電話：042(540)4300（代表）  
FAX：042(540)4333  
URL：<http://www.kokken.go.jp>

(平18-2)